

**歯科診療所と歯科技工所の連携による歯科補てつ物等の
品質及び患者の生活の質の向上に関する調査研究**

調査報告書

平成25年9月



一般社団法人 日本歯科技工学会 調査研究事業

INDEX (目次)

掲載ページ

I. 調査概要	1頁
1. 調査目的	
2. 調査体制	
3. 調査対象	
4. 調査方法	
5. 調査期間	
6. 標本数	
7. 有効回答数	
8. 調査委員会	
II. 回答者プロフィール分析	2頁
III. 総括	3頁
IV. 集計結果報告書	
① 歯科技工所調査編	5頁
② 歯科医師調査編	27頁
V. 添付資料	
1. アンケート調査票 (歯科技工所)	47頁
2. アンケート調査票 (歯科診療所等)	49頁

※本調査に関する詳細なデータは、下記の学会ホームページよりダウンロードできます
<http://www.nadt.jp>

I. 調査概要

1. 調査目的

今日の歯科医療において、患者の生活の質に配慮した歯科医療を充実することが望まれており、また、患者の歯科治療に対する質的要望も高まっている。

その観点から「歯科医療機関内に歯科技工室の整備を行い、歯科技工士を配置し、その技能を活用している歯科保険医療機関の取組みを評価するため、平成22年4月の診療報酬改定において有床義歯修理に係る「歯科技工加算」が新設された。

このように歯科診療所と歯科技工所の緊密な連携のもと、患者の生活の質の向上と歯科治療に対する要望に応えるため、義歯修理等における歯科技工所の役割は大きなものがある。

そこで、本調査・研究において歯科診療所と歯科技工所の連携による患者満足度に対する影響や効果について、義歯修理等を委託した歯科医師と修理した歯科技工所に勤務する歯科技工士の双方にアンケート調査を行い、その有効性の把握とともに有床義歯修理に係わる適正な技術評価を得ることを目的とする。

2. 調査体制

本学会会員の中から調査・研究委員会を構成し、調査項目、対象者等を検討した上でアンケート調査を実施。「株式会社アクロス」にて集計、本委員会にて報告書としてまとめた。

3. 調査対象

本学会会員の中から年齢、性別、就業形態、経験年数等を勘案し、その比例按分数を無作為抽出した歯科技工士会員、全歯科医師会員ならびに関係施設。なお、今回は調査の性質上、歯科技工士会会員は自営者とした。

4. 調査方法

対象会員・施設へアンケート用紙送付、無記名回答

5. 調査期間

2013年(平成25年)5月～2013年(平成25年)7月

6. 標本数

2,176名、33施設

7. 有効回答数

690名

8. 調査委員会

委員長	末瀬	一彦
副委員長	時見	高志
委員	福間	泰弘
	奥村	英世
オブザーバー	古橋	博美
	齊木	好太郎

Ⅱ. 回答者プロフィール分析

歯科技工士においては、男性が97.2%、50歳以上が76.9%、個人経営者が75.4%を占め、現在の歯科技工士体系をほぼ代表していると考えられる。開設期間においては20-25年をピークにほぼ正規性を示している。従業員数においては5人以下が84.8%を占め、いわゆる小規模歯科技工所が圧倒的であった。全国平均では、76%程度が小規模歯科技工所であることから本調査は、それを上回っていた。歯科技工物の内容的には、保険歯科技工の割合が70%以上のものは79.2%を占め、クラウン・ブリッジおよび有床義歯が中心であるものはそれぞれ77.2%および77.7%であったことから、今回の調査対象者の約70%は保険診療に対する歯科技工の業務を行っている歯科技工所である。

歯科医師においては、50歳代が36.0%、40歳代が22.5%で多く、診療所開設または勤務が61.8%、開設期間は25年～30年が中心であった。従業員数は5人以下が39.3%で最も多かったが、一方では51人以上が23.6%で多く、さらにチェア台数は3台および11台以上が共に24.7%でも最も多かったことから、個人開業診療所と病院勤務者の両方からの回答であったと考えられる。また、歯科技工室の設置については83.1%の診療室に併設されていた。

今回の回答者について、歯科技工士および歯科医師からの回収率は高くなかったが、最近の歯科医療従事者の実態を鑑みた場合、年齢、開設時期、従業員数、開設状況などからみて、特に偏った傾向のある回答者ではなかったと考えられる。

Ⅲ. 総括

歯科診療所と歯科技工所の連携による歯科補てつ物等の
品質及び患者の生活の質の向上に関する調査研究

委員長 末瀬 一彦

●歯科技工所に対する調査結果から

今回のアンケート調査回答者は、歯科技工所においては個人開業者が75%、50歳以上が77%、開業歴20～25年が30%、5人以内の小規模が85%で最も多く、日本の歯科技工所の全体像を反映していると考えられる。また、回答者のうち70%以上が保険技工を行っているのが82%で、主な業務として、クラウンブリッジは40歳、50歳、60歳代がほぼ80%行われ、有床義歯は50歳以上において徐々に多くなっていく傾向が認められた。

歯科技工士において、保険制度上「歯科技工加算」の設定について認識している割合が、36%と低く、特に50歳以下の歯科技工士において認知度が低かった。保険技工を中心に行っている歯科技工士でさえ、いずれの年齢層においても認知度は50%に満たなかった。

歯科診療所からの有床義歯修理の委託について、歯科技工所の従事者数に応じて増加し、修理の内容は、矯正装置、金属床、有床義歯が90%程度であった。また、1か月の委託回数は4回以上が50%以上を占め、従業員数が多くなれば、その傾向は著明であった。

有床義歯の修理内容ではクラスプの破折が最も多く、義歯床の破折、増歯、鉤歯の修復、人工歯の破折・脱離、増歯とリベースの順で、いずれも80%以上であった。

修理にかかる日数は、人工歯の破折・脱離、義歯床の破折、増歯は2日間（翌日）、増歯とリベース、鉤歯の修復、クラスプの破折は3日（翌々日）が最も多かった。

修理にかかる費用として人工歯の破折・脱離、増歯は1,500～2,000円未満（平均1,305円（増歯の平均は1,358円））、義歯床の破折は1,500～2,000円未満（平均1,690円）、クラスプの破折・修理は2,000～3,000円未満（平均2,405円）、リベースは5,000～6,000円未満（平均4,308円）が最も多かった。

保険制度に歯科技工加算として算定した方が良いと考えられる内容としては、有床義歯試適（61%）、シェードテイキング（57%）、咬合採得（41%）であった。シェードテイキングに関しては、49歳未満、従業員数が多いほど、保険技工の割合が50～70%で最も多かった。また有床義歯試適に関しては、50歳以上、従業員数が多いほど、保険技工の割合が70～90%でもっとも多かった。さらに咬合採得に関しては、39歳以下、従業員数が6～10名が多く、保険技工の割合では50%を超える割合はなかった。

●歯科診療所に対する調査結果から

一方、歯科診療所の歯科医師からの回答は、59歳未満が76%を占め、5人未満の診療所は97%を占めた。診療所に技工室が設置されているのは83%であったが、歯科技工士が配置されているのは65%で、そのうち95%は常勤であった。常勤の歯科技工士数は1人が42%、3～5人および6～10人が16%であった。歯科技工士の配置は40～49歳の歯科医師で90%、50～59歳で63%、70歳以上の歯科医師では歯科技工士の配置は皆無であった。有床義歯修理に必要な機器を整備している歯科診療所は89%で、そのうち歯科技工室が設置されているのは93%であった。

歯科技工室が設置されている歯科診療所内で有床義歯修理が行われているのは96%で、歯科技工室が設置されていなくても有床義歯修理が行われているのは71%であった。

歯科技工士が配置されている歯科診療所において有床義歯の修理内容で最も多いのは、クラスピの破折、鉤歯の修復が70%、増歯、リベースが65%程度であった。

歯科診療所内で保険の有床義歯修理が行われている内容は、人工歯の破折・脱離、義歯床の破折、増歯が90%以上で、増歯とリベース、鉤歯の修復、クラスピの破折もほぼ80%以上であった。修理にかかる日数において、人工歯の破折・脱離、義歯床の破折、増歯はいずれも85%以上が1日（当日）、増歯とリベースは66%が1日（当日）、13%が3日（翌々日）、鉤歯の修復は1日（当日）と4日以上が32%、3日（翌々日）が25%であった。クラスピの破折は4日以上が35%、3日（翌々日）が28%であった。

歯科技工士が配置されているにもかかわらず、歯科医師自らが有床義歯の修理を行う割合は、64%、歯科技工士が配置されていない場合は90%であった。また歯科医師が行う有床義歯修理の内容は、人工歯の破折・脱離が73%、義歯床の破折が70%、増歯が61%、増歯とリベースが57%であった。クラスピの破折は28%、維持装置の修理37%、鉤歯の修復が34%であった。

歯科技工士が配置されているにもかかわらず有床義歯修理を施設外へ委託する割合は43%、歯科技工士が配置されていない場合は81%であった施設外へ委託する有床義歯修理の内容は、クラスピの破折が92%、鉤歯の修復が76%、増歯とリベースが50%であった。修理にかかる日数は、人工歯の破折・脱離、義歯修理、増歯は4日以上が40%以上、増歯とリベースは4日以上が56%、鉤歯の修復、クラスピの破折は4日以上が60%以上であった。

修理に関わる費用として適切な料金は、人工歯の破折・脱離が1,500円～2,000円が43%、義歯修理は1,000円～1,500円が47%、クラスピの破折が2,000円～2,500円が26%、増歯が1,500円～2,000円が50%、リベースが3,000円～5,000円が33%で最も多かった。

有床義歯修理に関わる保険点数について71%が現行では低く上げるべきであると回答され、歯科技工士が配置されている方が多かった。

保険制度上、歯科技工加算として算定した方が良いと思われる内容について、シェードテイキングが76%、有床義歯試適が65%、咬合採得が35%であった。歯科技工士が配置されている場合、シェードテイキングは83%、有床義歯試適は69%、咬合採得は36%であった。歯科技工士が配置されない場合はいずれも低い割合であった。

●調査結果のまとめ

歯科技工加算（22点）の算定要件は、破損した有床義歯を預かった日から起算して2日以内に修理を行うこと、常勤の歯科技工士が配置されていること、有床義歯を迅速に修理する体制を整備していること、院内に掲示されていることが挙げられている。現在、歯科医療機関数が約68,000で、そのうち『歯科技工加算』の届出を行っている医療機関数は約7,300施設で全体の約11%に相当する。歯科技工加算点数は22点と決して大きな点数ではないが、義歯の修理が早く行われれば、患者のQOLの維持への貢献は極めて大きいと考えられる。

また、有床義歯の修理だけでなく、シェードテイキングや有床義歯試適など歯科技工士の活用が広がれば、患者の歯科医療に関する安心感や満足度が高まり、歯科医師も集中して治療処置に専念でき、さらには歯科技工士の役割が再認識され歯科技工士の認知度が高まるだけでなく、歯科技工士自身の医療技術者としてのモチベーションが向上することも期待できる。

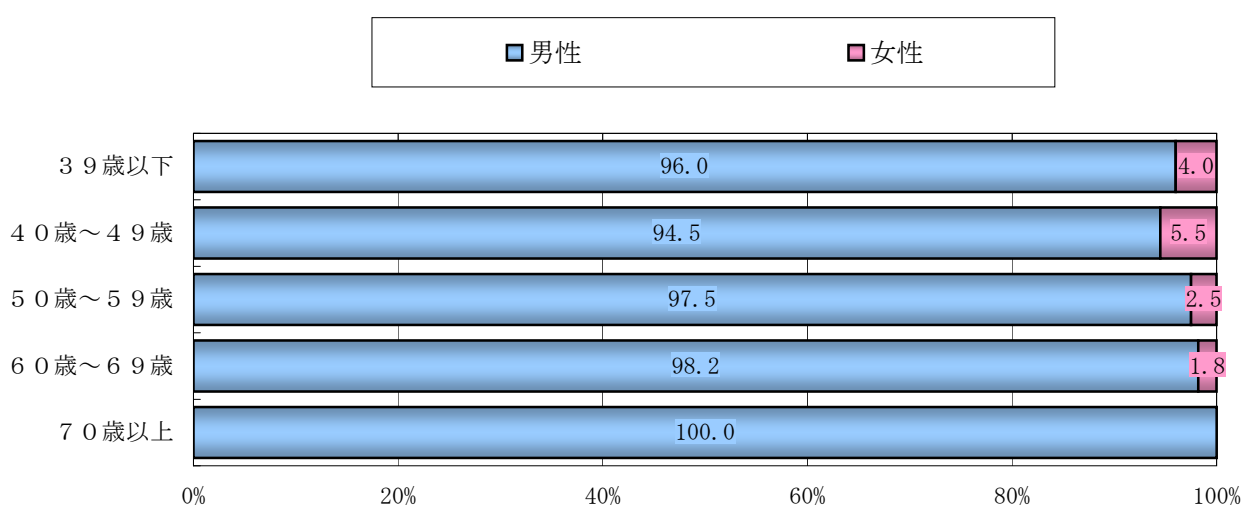
IV. 集計結果報告書 ①歯科技工所調査編

1. 性別

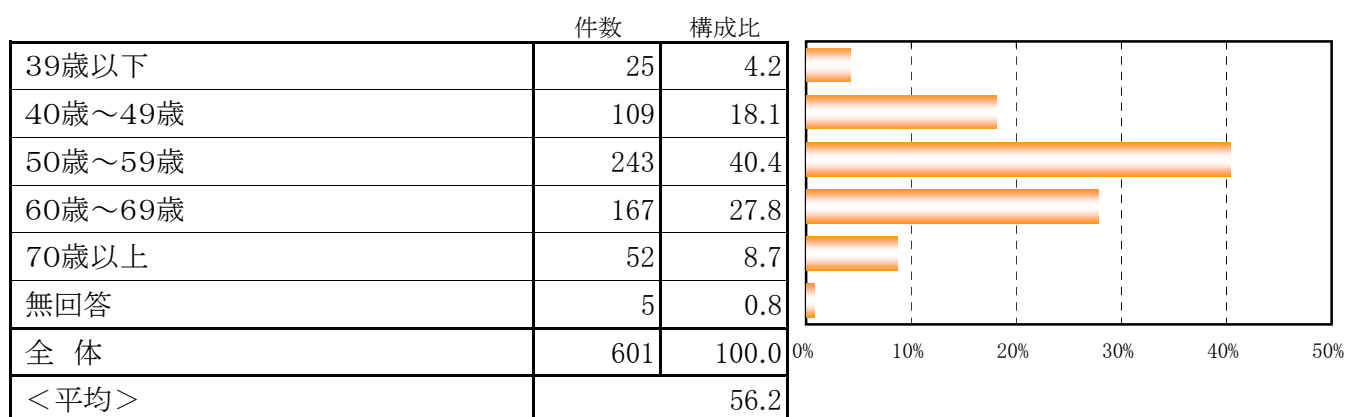


全体で見ると「男性」584件(97.2%)、「女性」16件(2.7%)となっている。

グラフ① [2. 年齢] × [1. 性別]

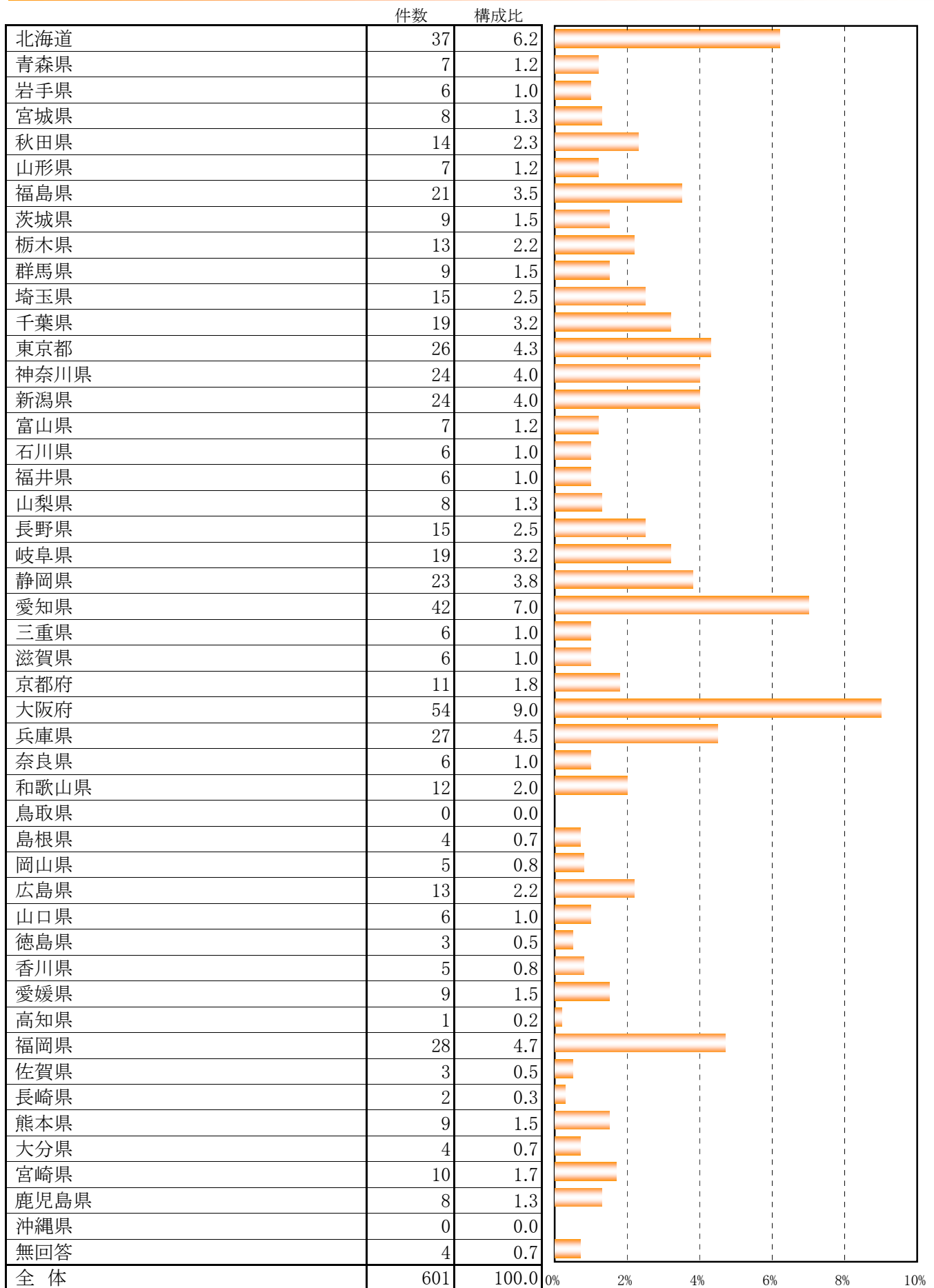


2. 年齢



全体で見ると「50歳～59歳」243件(40.4%)、「60歳～69歳」167件(27.8%)、「40歳～49歳」109件(18.1%)の順となっており、平均年齢は〔56.2歳〕となっている。

3. 施設の所在地



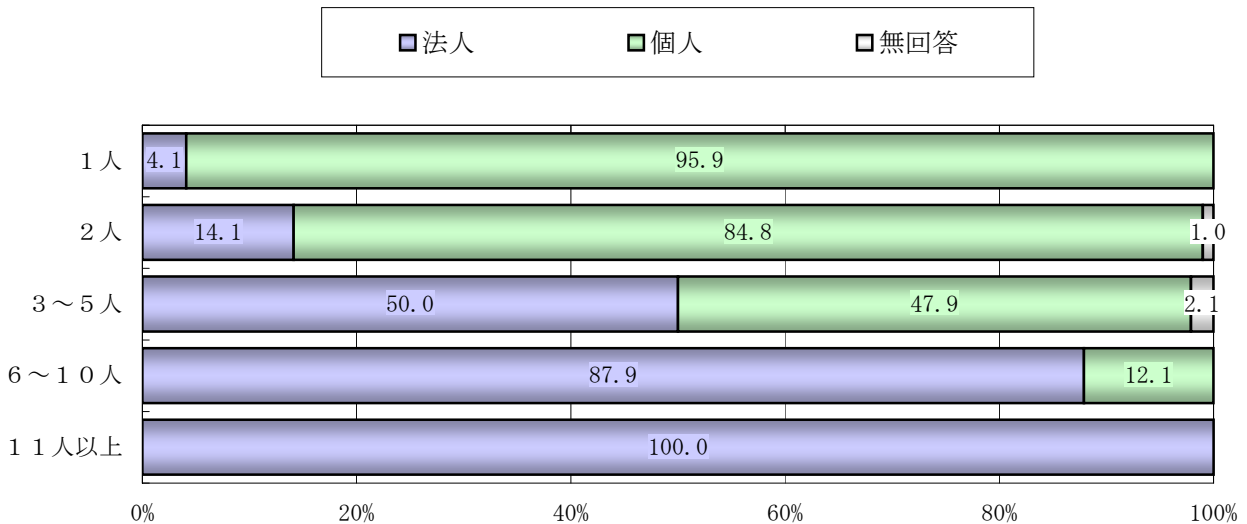
全体で見ると「大阪府」54件(9.0%)、「愛知県」42件(7.0%)、「北海道」37件(6.2%)の順となっている。

4. 施設の形態

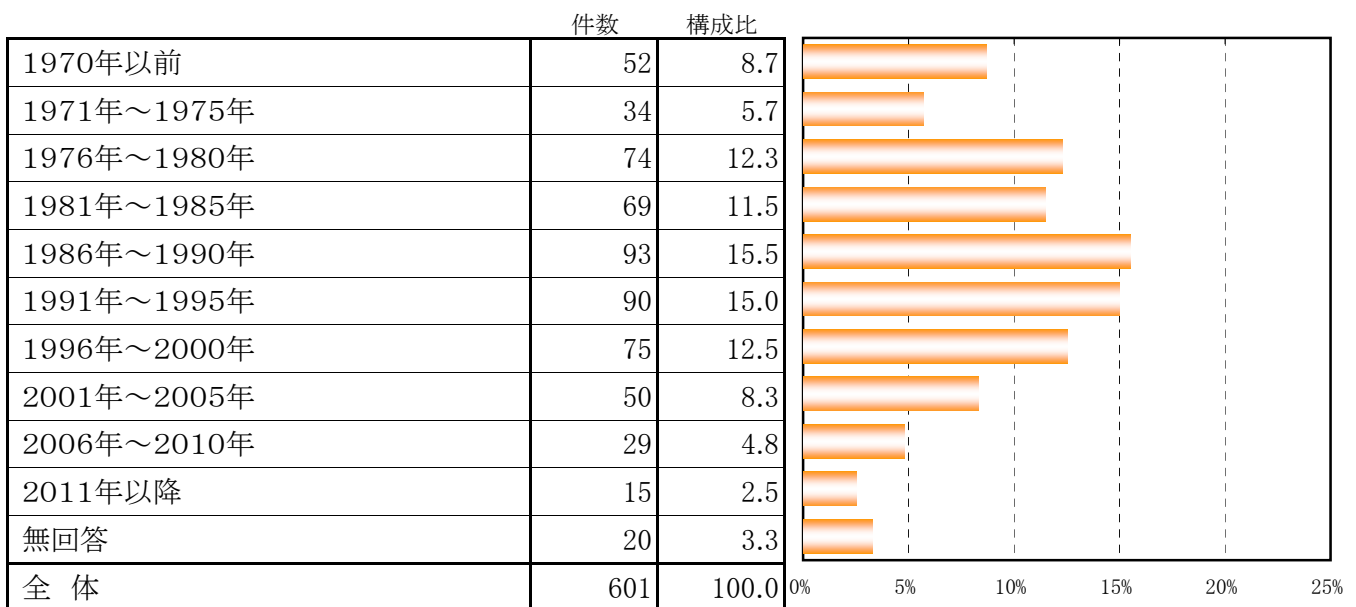


全体で見ると「個人」453件(75.4%)、「法人」144件(24.0%)となっている。

グラフ① 〔6. 従事者数〕×〔4. 施設の形態〕

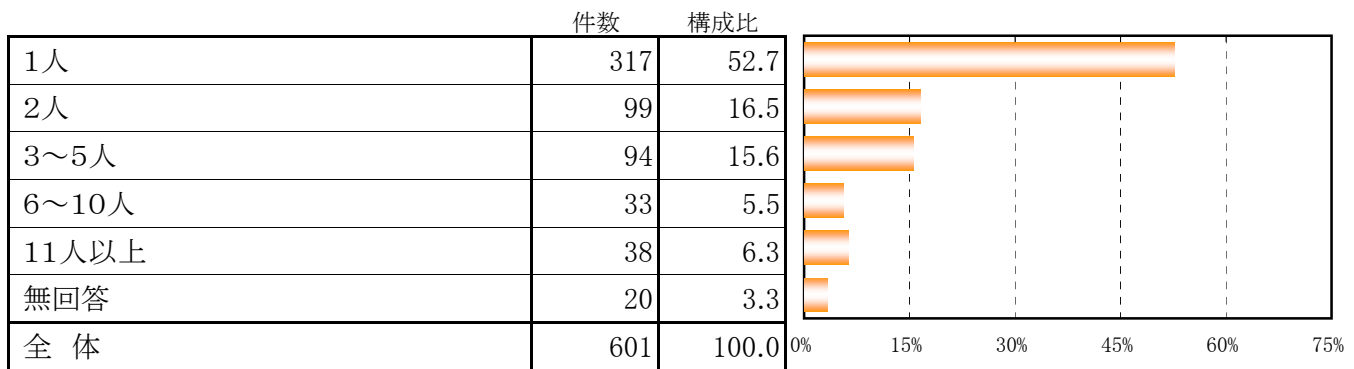


5. 開設時期



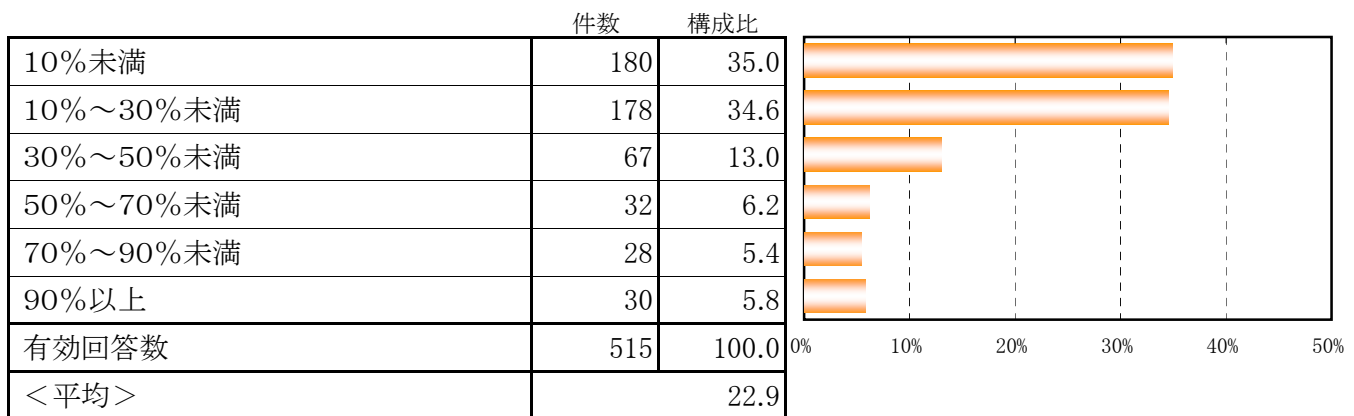
全体で見ると「1986年～1990年」93件(15.5%)、「1991年～1995年」90件(15.0%)、「1996年～2000年」75件(12.5%)の順となっている。

6. 従事者数（歯科技工業務）



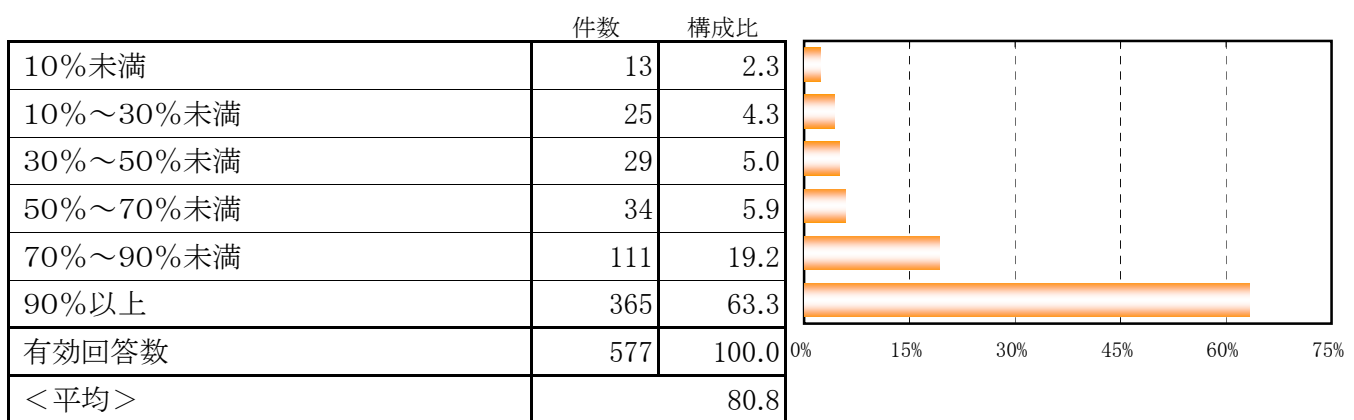
全体で見ると「1人」317件(52.7%)、「2人」99件(16.5%)、「3～5人」94件(15.6%)の順となっている。

7. ①自費技工の割合



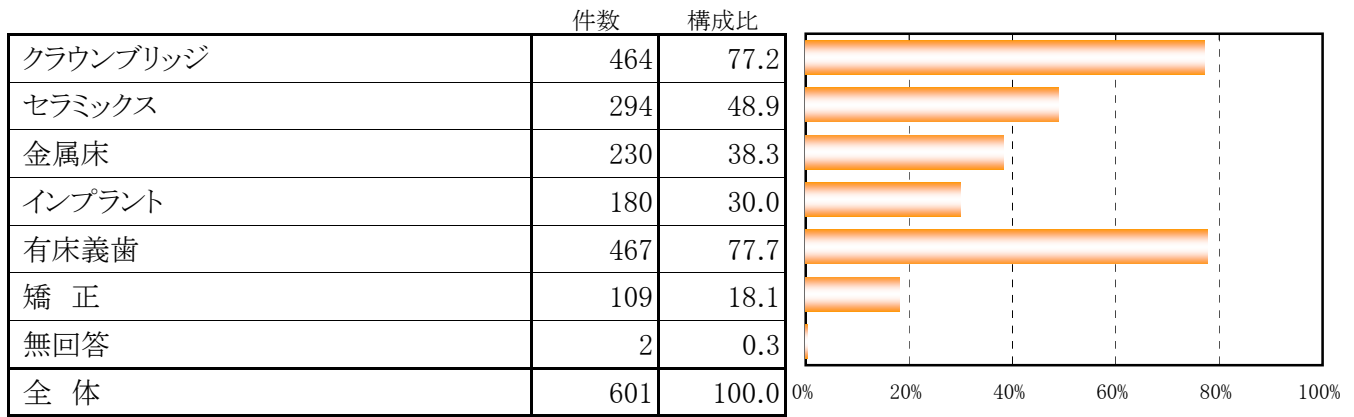
全体で見ると「10%未満」180件(35.0%)、「10%～30%未満」178件(34.6%)、「30%～50%未満」67件(13.0%)の順となっており、平均自費技工の割合は〔22.9%〕となっている。

7. ②保険技工の割合



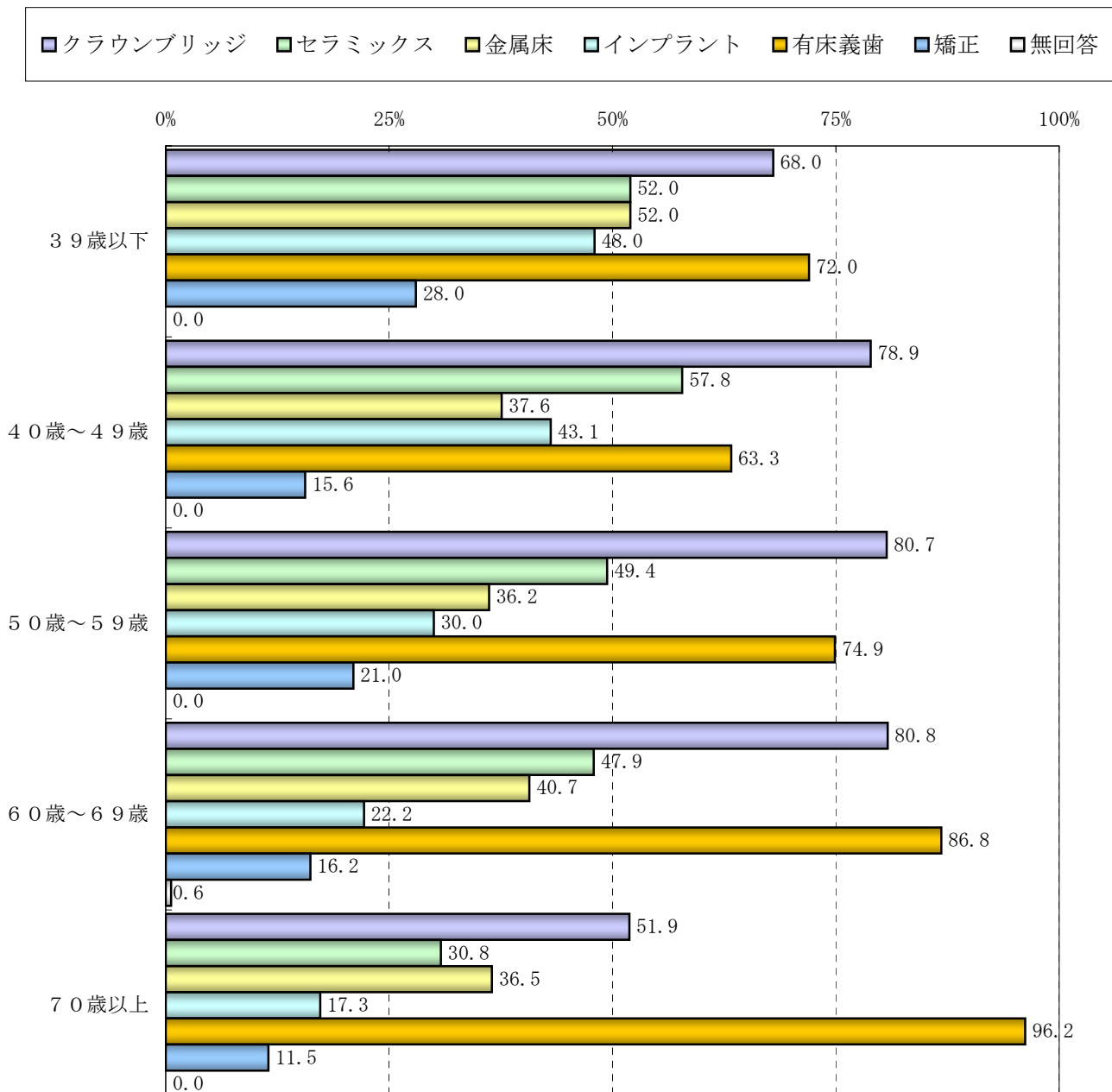
全体で見ると「90%以上」365件(63.3%)、「70%～90%未満」111件(19.2%)、「50%～70%未満」34件(5.9%)の順となっており、平均保険技工の割合は〔80.8%〕となっている。

8. 主な業務内容



全体で見ると「有床義歯」467件(77.7%)、「クラウンブリッジ」464件(77.2%)、「セラミックス」294件(48.9%)の順となっている。

グラフ① 〔2. 年齢〕×〔8. 主な業務内容〕



8. 主な業務内容（組合せパターン別）

回答組合せ（件数）	
1,5	(89)
5	(67)
1,2,4	(53)
1,2,3,4,5,6	(43)
3,5	(41)
1,2,3,4,5	(40)
1,2,5	(39)
1,2,3,5	(38)
1,2	(33)
1	(26)
1,3,5	(26)
1,2,4,5	(18)
1,5,6	(12)
5,6	(10)
1,2,3,5,6	(10)
3,5,6	(9)
1,3,5,6	(6)
1,2,5,6	(5)
1,4	(4)
1,2,3,4	(4)
1,3,4,5	(4)
1,6	(3)
3,4,5	(2)
1,2,3,4,6	(2)
1,2,4,5,6	(2)
2	(1)
3	(1)
2,4	(1)
1,2,3	(1)
1,2,6	(1)
1,4,5	(1)
1,4,6	(1)
2,3,5	(1)
1,2,4,6	(1)
1,4,5,6	(1)
2,4,5,6	(1)
3,4,5,6	(1)
1,3,4,5,6	(1)
無回答	(2)
全体	(601)

回答番号
1. クラウンブリッジ
2. セラミックス
3. 金属床
4. インプラント
5. 有床義歯
6. 矯正

○全体の中で「クラウンブリッジ」を

選択したものは464件（全体の77.2%）であった。

○「クラウンブリッジ」「セラミックス」「インプラント」

のいずれかのみを選択したものは118件（全体の19.6%）であった。

○「有床義歯」「金属床」「矯正」のいずれかのみを

選択したものは128件（全体の21.2%）であった。

○「クラウンブリッジ」「セラミックス」「インプラント」の

いずれかを選択し、「有床義歯」「金属床」「矯正」の

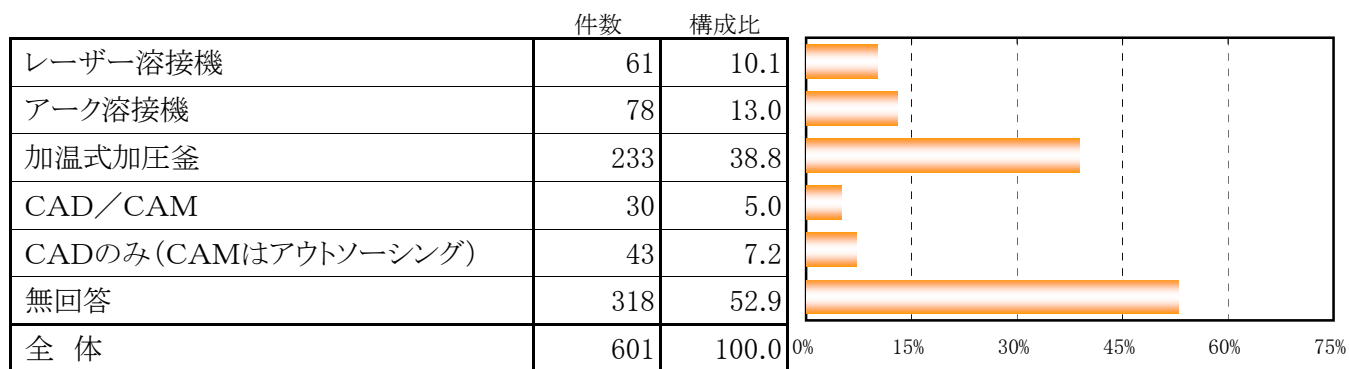
いずれかを選択したものは353件（全体の58.7%）であった。

※表の見方について、

「1,5 (89)」の場合、「クラウンブリッジ」「有床義歯」の
2つに○を付けた方が【89件】あったということである。

※回答組合せパターンの掲載順番は、件数多い順である。

9. 設置している機器



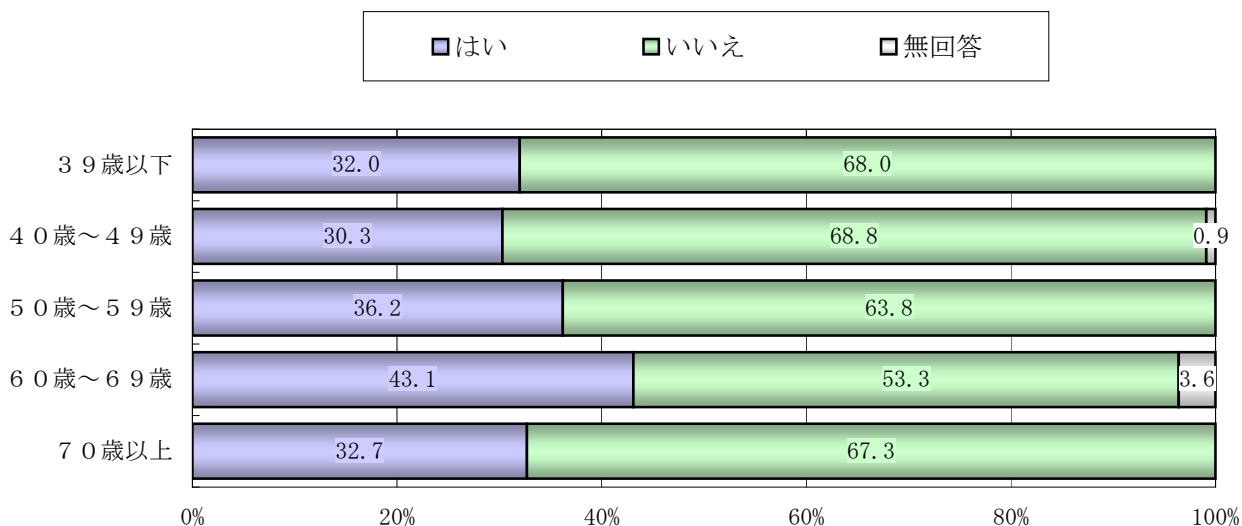
全体でみると「加温式加圧釜」233件(38.8%)、「アーク溶接機」78件(13.0%)、「レーザー溶接機」61件(10.1%)の順となっている。

問1. 歯科技工加算が設けられたことの認識有無

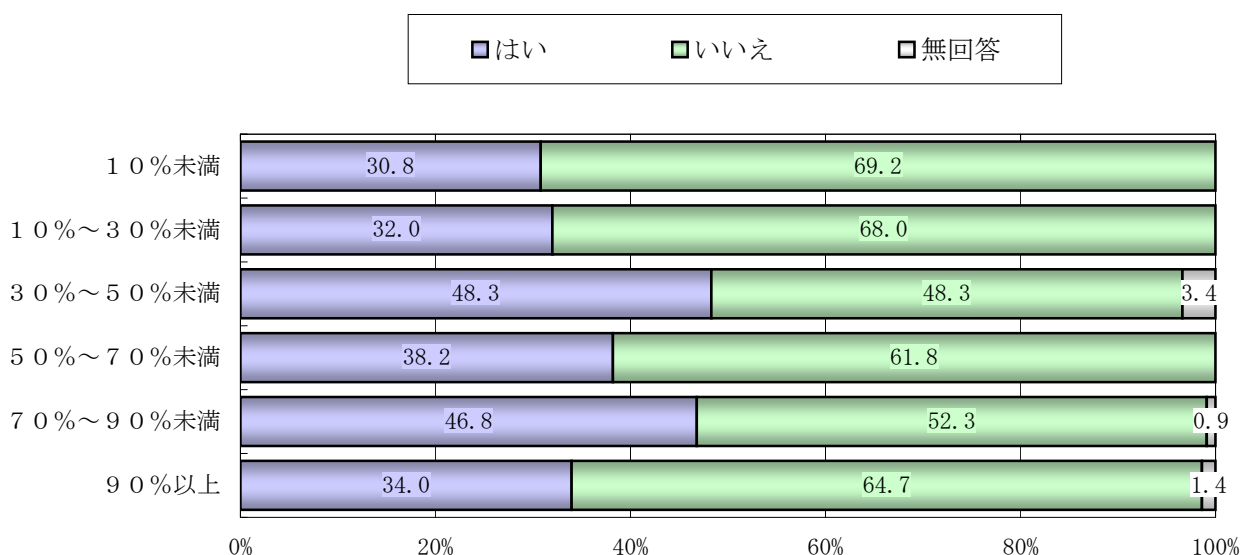
	件数	構成比
はい	220	36.6
いいえ	374	62.2
無回答	7	1.2
全体	601	100.0

全体で見ると「いいえ」374件(62.2%)、「はい」220件(36.6%)となっている。

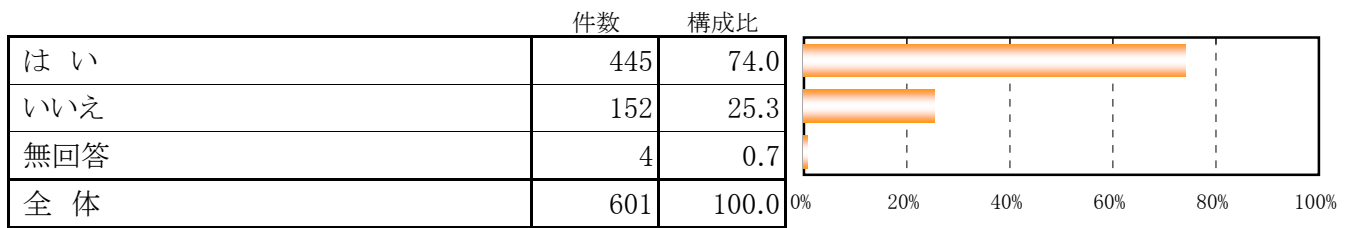
グラフ① 〔1. ②年齢〕 × 〔問1. 歯科技工加算が設けられたことの認識有無〕



グラフ② 〔1. ⑦保険技工の割合〕 × 〔問1. 歯科技工加算が設けられたことの認識有無〕

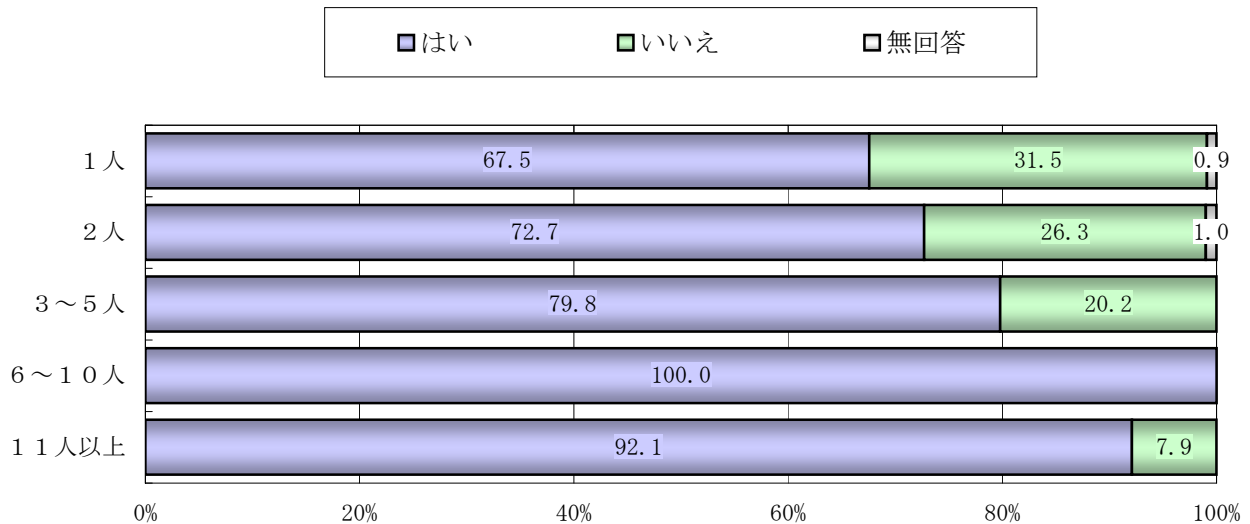


問2. 歯科診療所等から有床義歯修理の委託有無

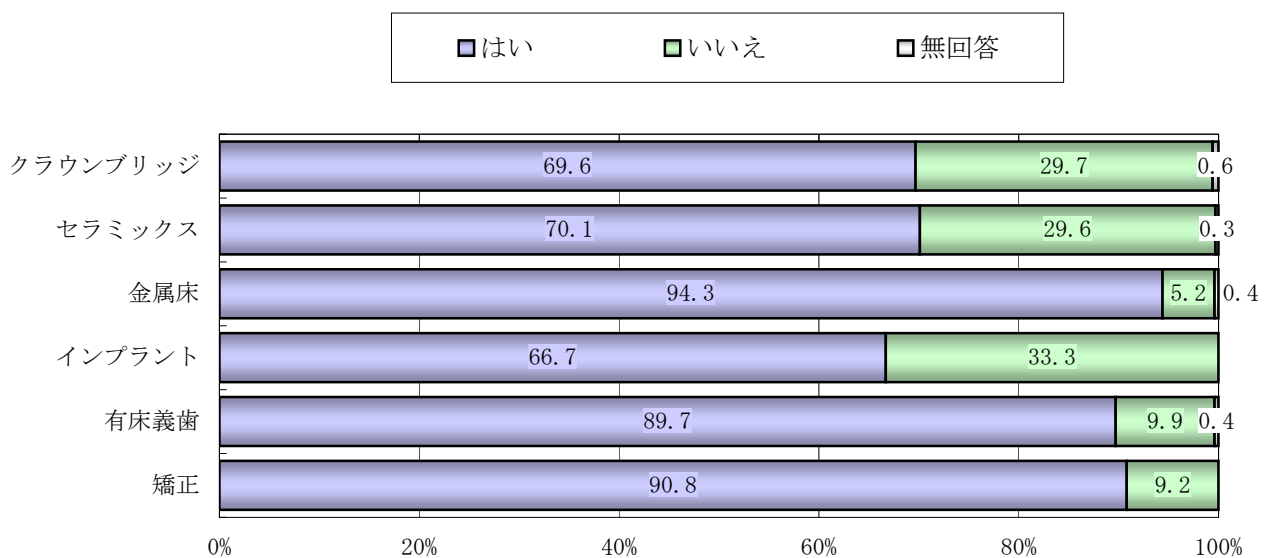


全体で見ると「はい」445件(74.0%)、「いいえ」152件(25.3%)となっている。

グラフ① 〔1. ⑥従事者数〕 × 〔問2. 歯科診療所等から有床義歯修理の委託有無〕

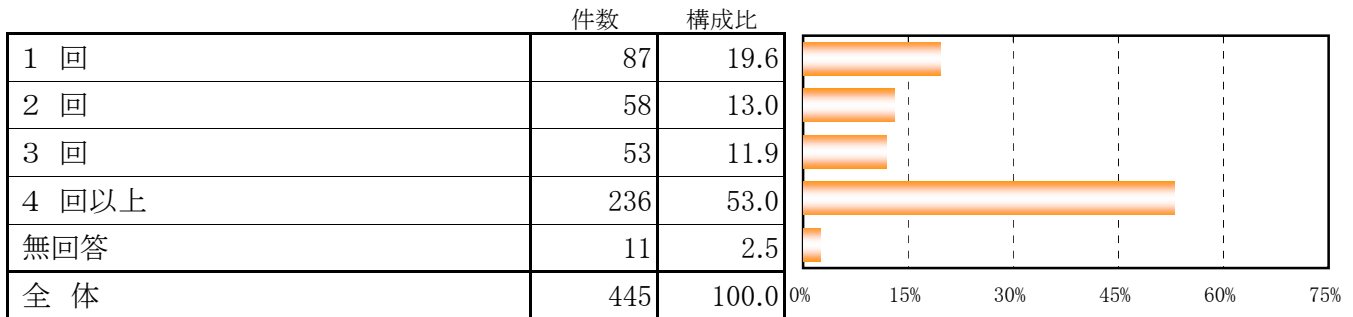


グラフ② 〔1. ⑧主な業務内容〕 × 〔問2. 歯科診療所等から有床義歯修理の委託有無〕



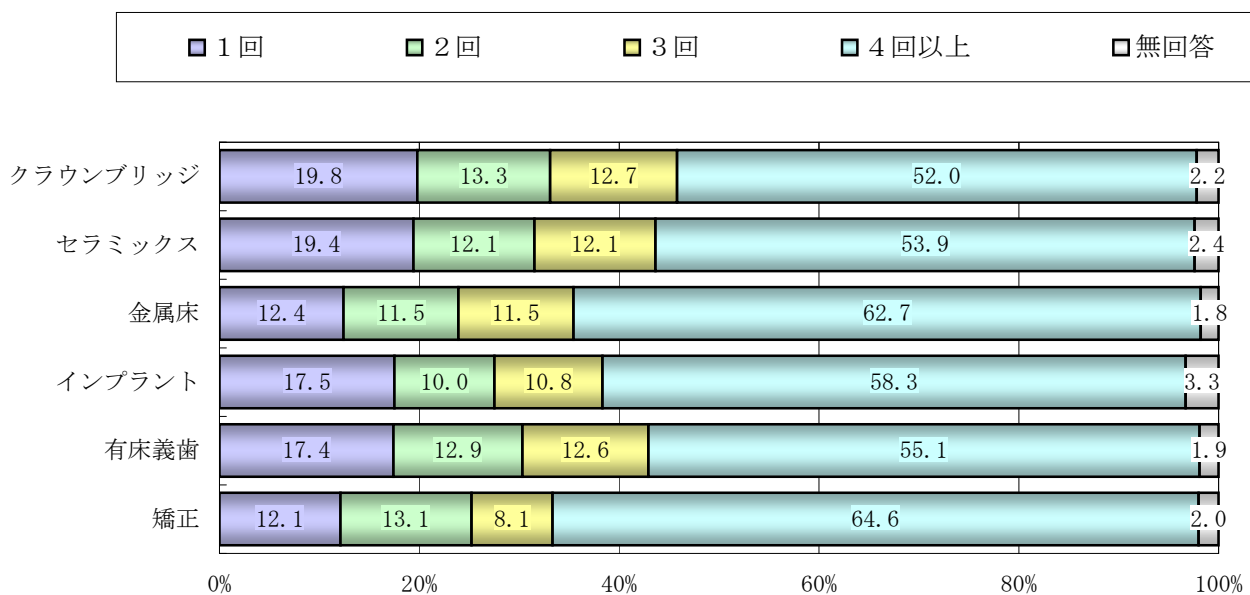
問3. 1ヶ月の委託回数

問2で「はい」を選択した方が対象

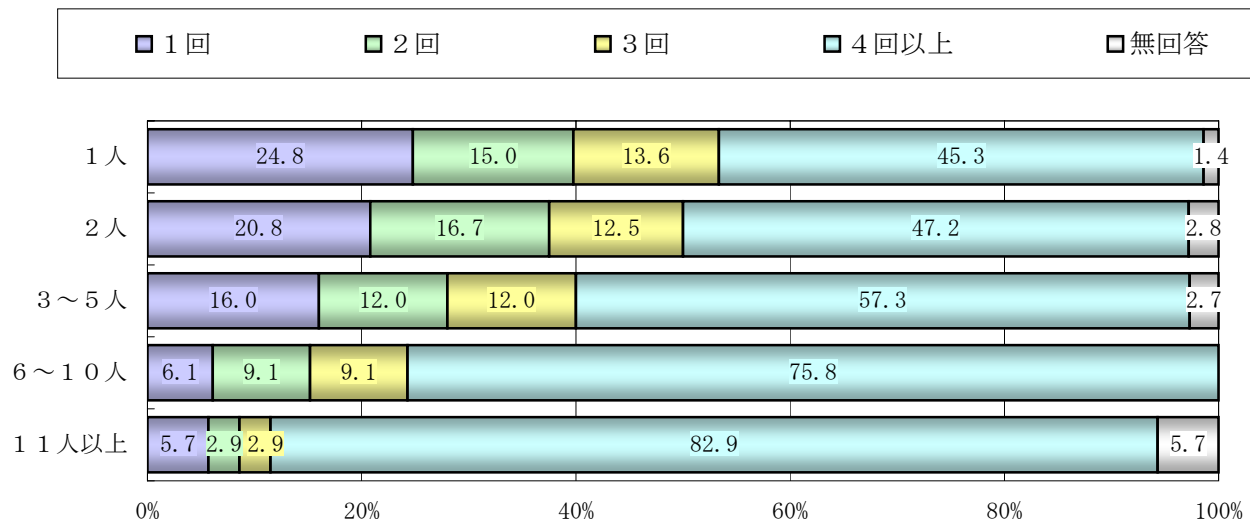


全体で見ると「4回」236件(53.0%)、「1回」87件(19.6%)、「2回」58件(13.0%)の順となっている。

グラフ① 〔1. ⑧主な業務内容〕 × 〔問3. 1ヶ月の委託回数〕

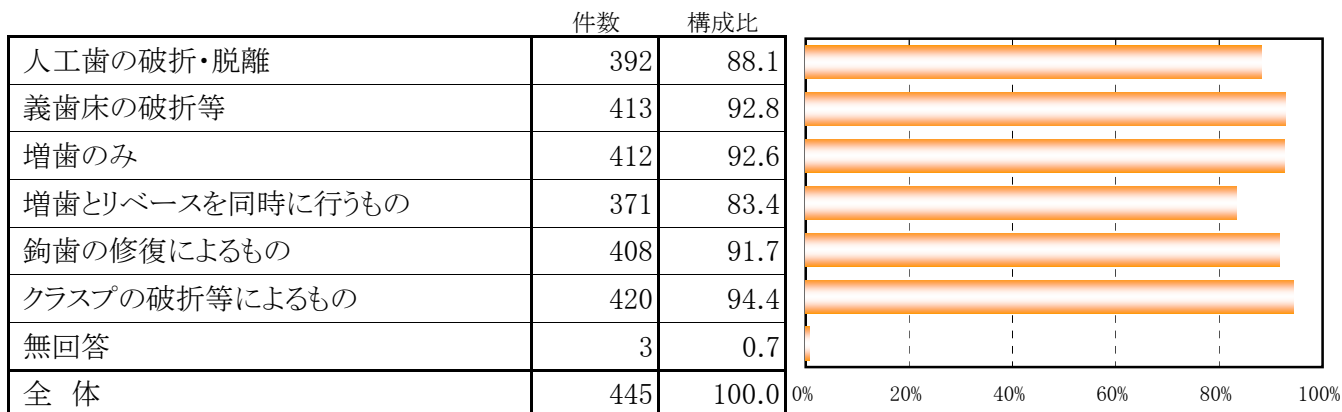


グラフ② 〔1. ⑥従事者数〕 × 〔問3. 1ヶ月の委託回数〕



問4. 有床義歯（保険）の修理内容

問2で「はい」を選択した方が対象



全体で見ると「クラスプの破折等によるもの」420件(94.4%)、「義歯床の破折等」413件(92.8%)、「増歯のみ」412件(92.6%)の順となっている。

問4. ①所要日数／人工歯の破折・脱離

問2で「はい」を選択した方が対象

問4で「人工歯の破折・脱離」を選択した方が対象



全体で見ると「翌日(2日)」149件(38.0%)、「翌々日(3日)」110件(28.1%)、「当日(1日)」96件(24.5%)の順となっている。

問4. ②所要日数／義歯床の破折等

問2で「はい」を選択した方が対象

問4で「義歯床の破折等」を選択した方が対象

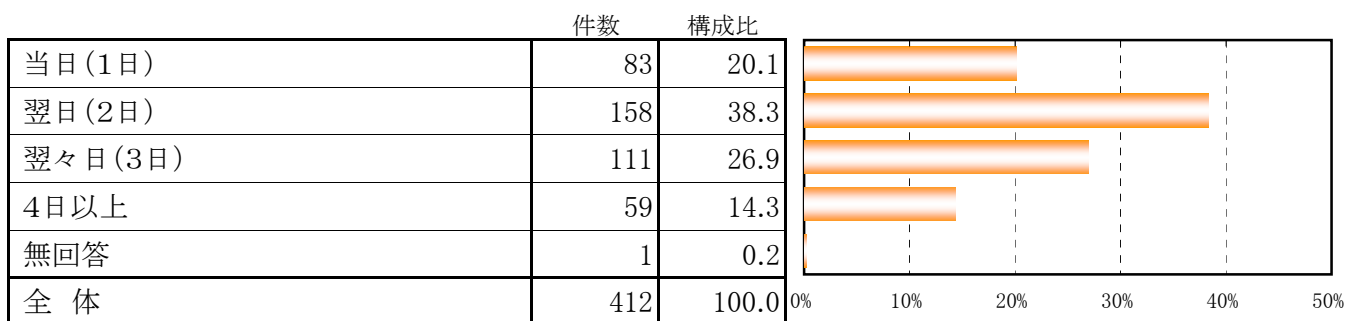


全体で見ると「翌日(2日)」160件(38.7%)、「翌々日(3日)」110件(26.6%)、「当日(1日)」87件(21.1%)の順となっている。

問4. ③所要日数／増歯のみ

問2で「はい」を選択した方が対象

問4で「増歯のみ」を選択した方が対象



全体でみると「翌日（2日）」158件(38.3%)、「翌々日（3日）」111件(26.9%)、「当日（1日）」83件(20.1%)の順となっている。

問4. ④所要日数／増歯とリベースを同時に行うもの

問2で「はい」を選択した方が対象

問4で「増歯とリベースを同時に行うもの」を選択した方が対象

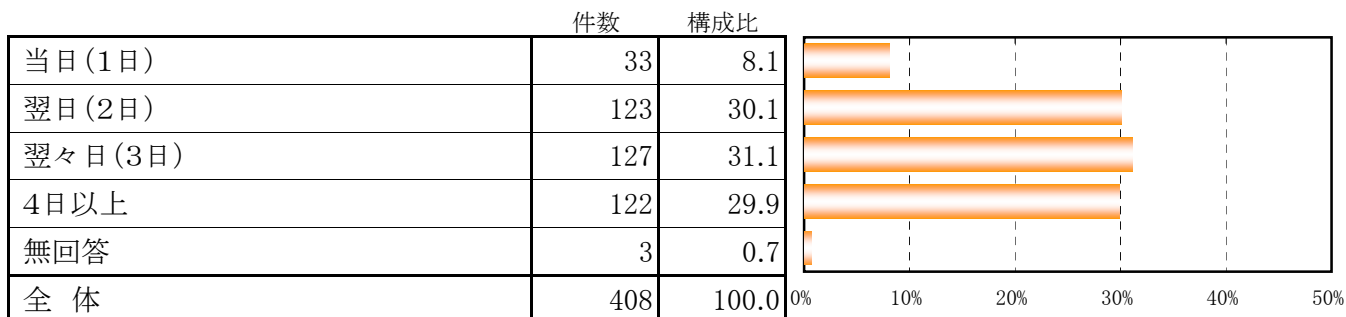


全体でみると「翌々日（3日）」133件(35.8%)、「4日以上」121件(32.6%)、「翌日（2日）」83件(22.4%)の順となっている。

問4. ⑤所要日数／鉤歯の修復によるもの

問2で「はい」を選択した方が対象

問4で「鉤歯の修復によるもの」を選択した方が対象



全体でみると「翌々日（3日）」127件(31.1%)、「翌日（2日）」123件(30.1%)、「4日以上」122件(29.9%)の順となっている。

問4. ⑥所要日数／クラスプの破折等によるもの

問2で「はい」を選択した方が対象

問4で「クラスプの破折等によるもの」を選択した方が対象

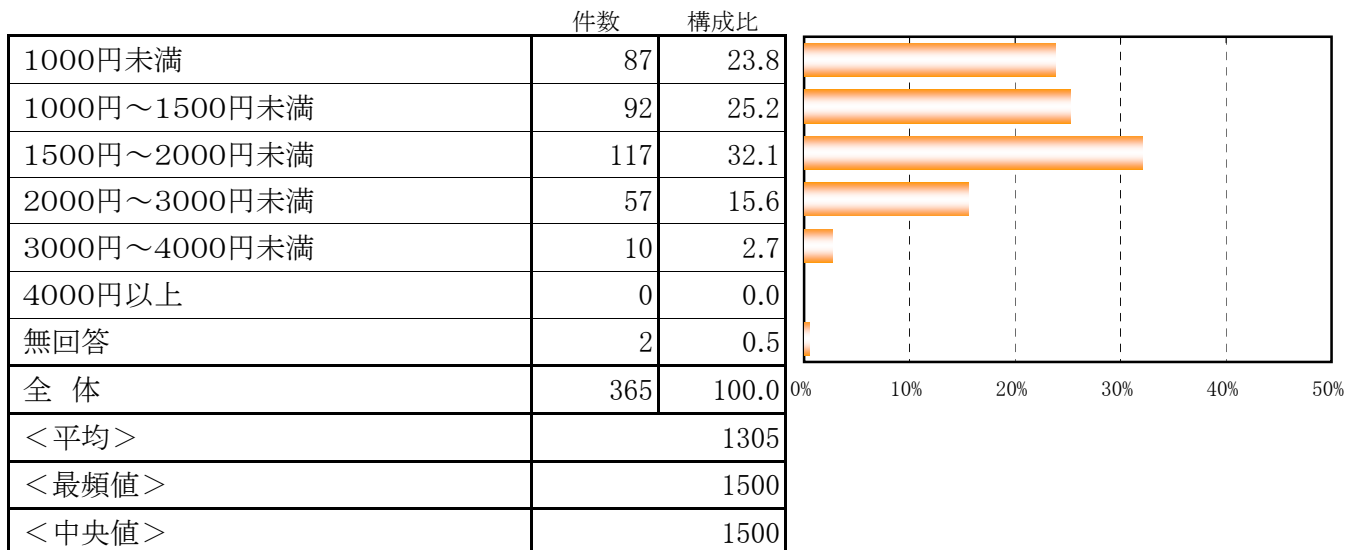


全体で見ると「翌々日(3日)」138件(32.9%)、「翌日(2日)」123件(29.3%)、「4日以上」120件(28.6%)の順となっている。

問5. ①技工料／人工歯の破折・脱離〈1歯あたり〉

問2で「はい」を選択した方が対象

問5で「人工歯の破折・脱離」を選択した方が対象

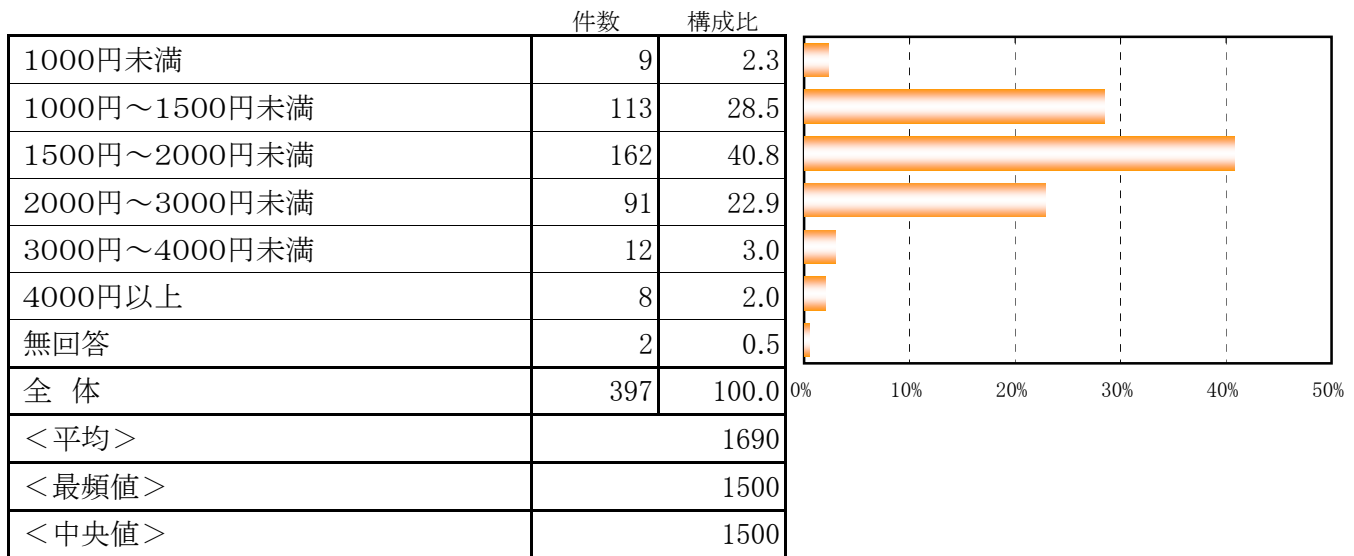


全体で見ると「1500円～2000円未満」117件(32.1%)、「1000円～1500円未満」92件(25.2%)、「1000円未満」87件(23.8%)の順となっており、平均〔1305円〕となっている。

問5. ②技工料／義歯床の破折等〈1床あたり〉

問2で「はい」を選択した方が対象

問5で「義歯床の破折等」を選択した方が対象

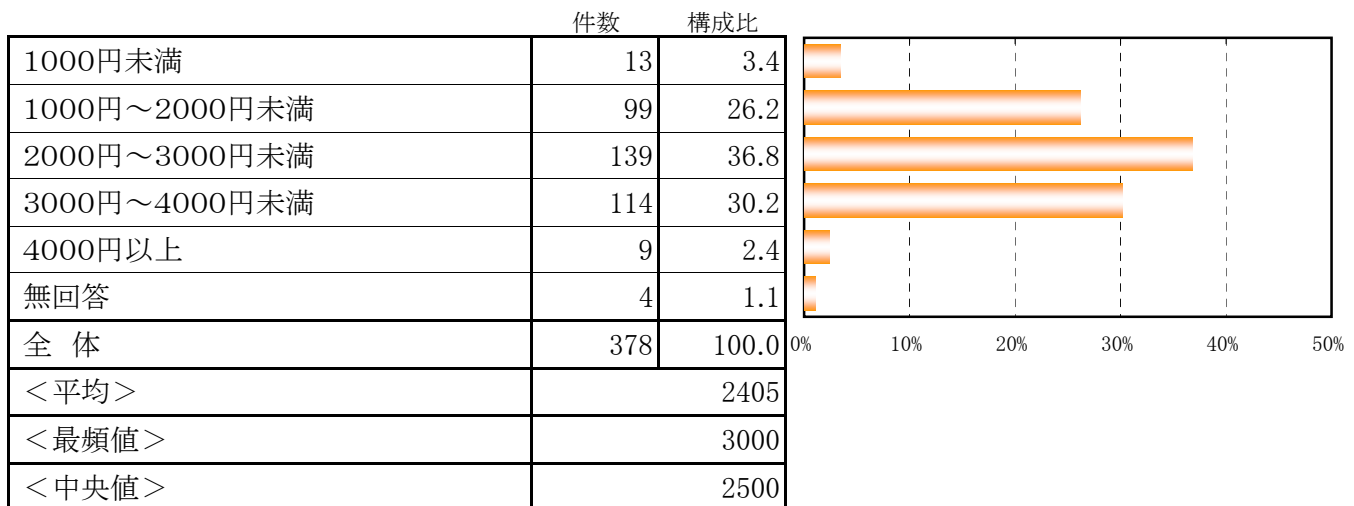


全体で見ると「1500円～2000円未満」162件(40.8%)、「1000円～1500円未満」113件(28.5%)、「2000円～3000円未満」91件(22.9%)の順となっており、平均〔1690円〕となっている。

問5. ③技工料／維持装置（鑄造二腕鉤）の作成と義歯への埋入〈1本あたり〉

問2で「はい」を選択した方が対象

問5で「維持装置（鑄造二腕鉤）の作成と義歯への埋入」を選択した方が対象

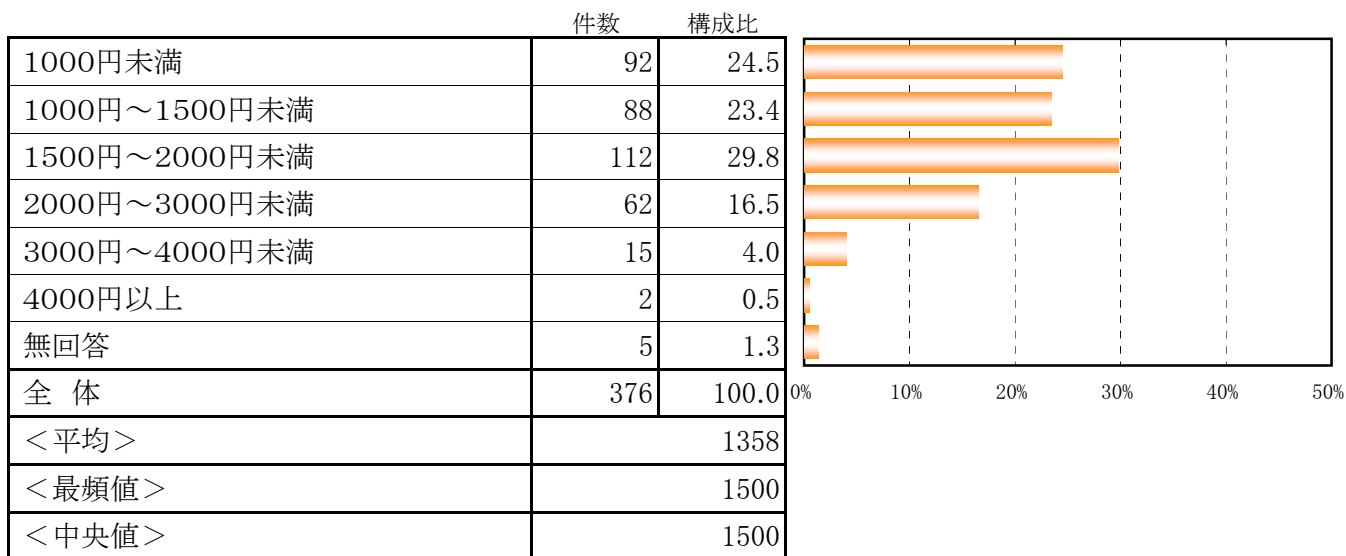


全体で見ると「2000円～3000円未満」139件(36.8%)、「3000円～4000円未満」114件(30.2%)、「1000円～2000円未満」99件(26.2%)の順となっており、平均〔2405円〕となっている。

問5. ④技工料／増歯のみ〈1歯あたり〉

問2で「はい」を選択した方が対象

問5で「増歯のみ」を選択した方が対象

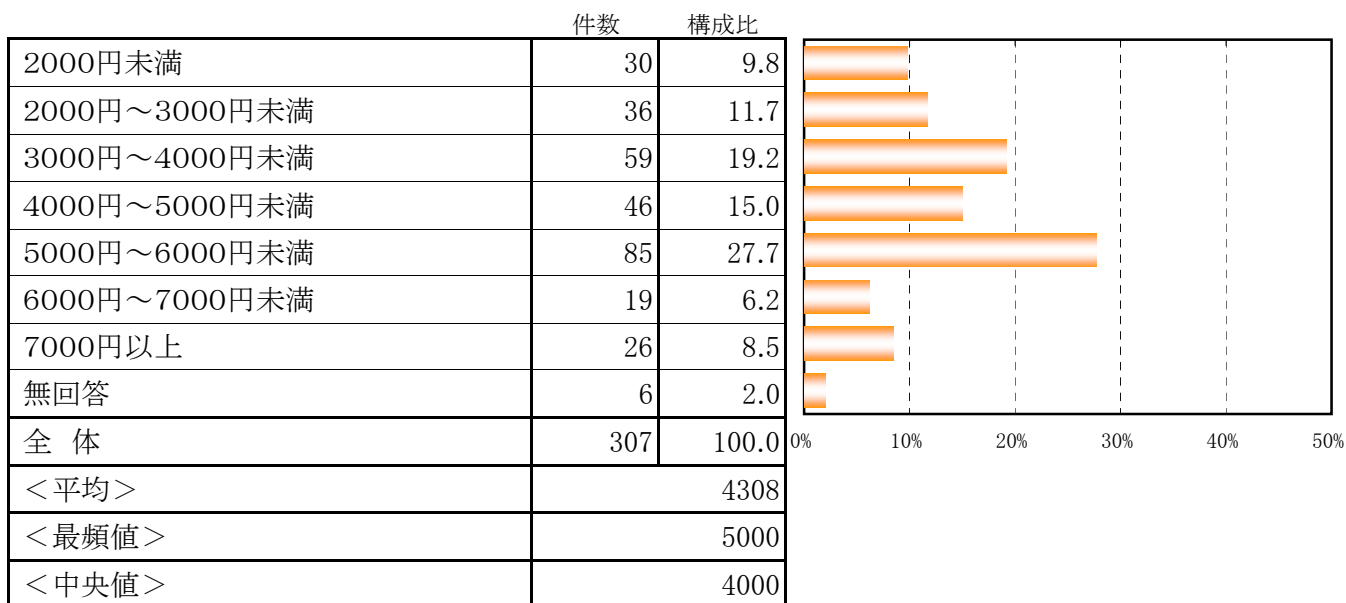


全体でみると「1500円～2000円未満」112件(29.8%)、「1000円未満」92件(24.5%)、「1000円～1500円未満」88件(23.4%)の順となっており、平均〔1358円〕となっている。

問5. ⑤技工料／リベース（換床法）〈1床あたり〉

問2で「はい」を選択した方が対象

問5で「リベース（換床法）」を選択した方が対象



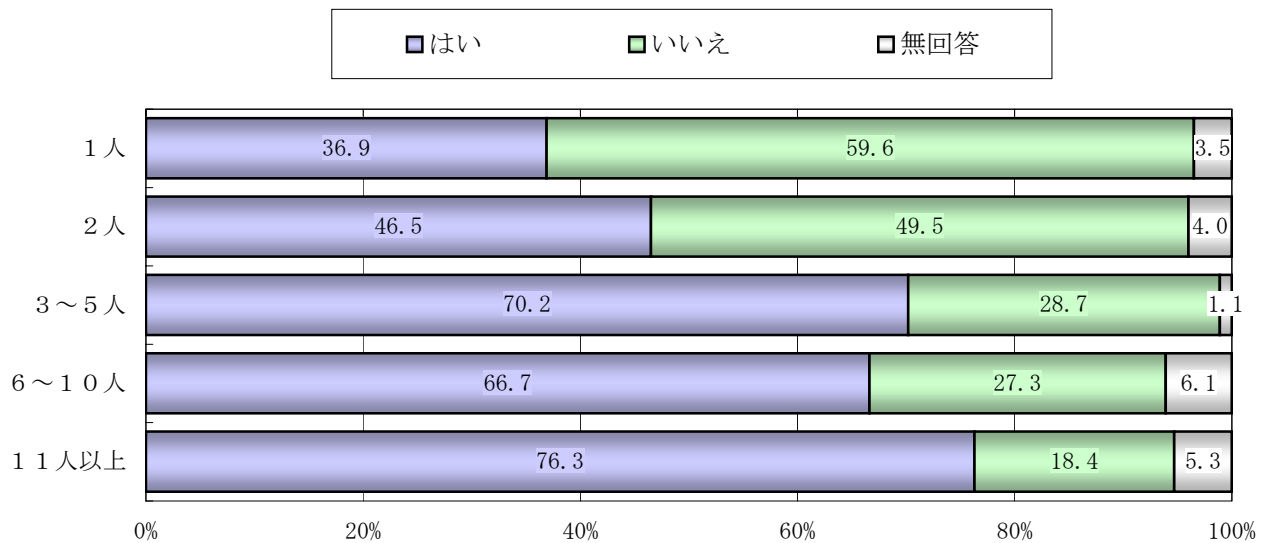
全体でみると「5000円～6000円未満」85件(27.7%)、「3000円～4000円未満」59件(19.2%)、「4000円～5000円未満」46件(15.0%)の順となっており、平均〔4308円〕となっている。

問 6. 歯科診療所等から有床義歯以外の修理委託有無

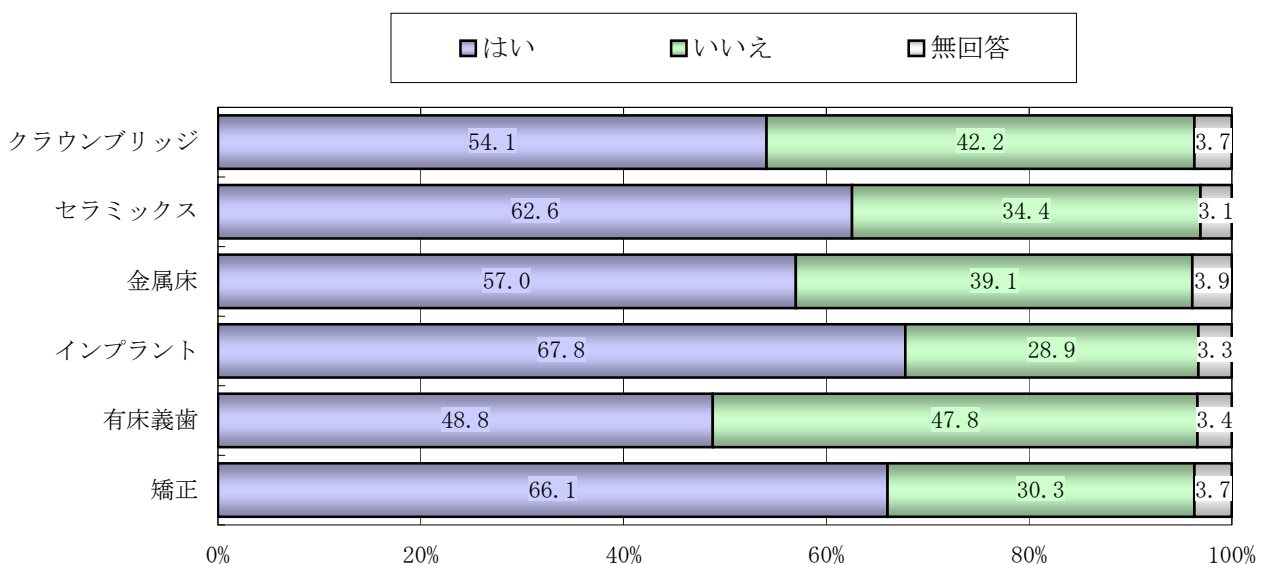
	件数	構成比
はい	289	48.1
いいえ	292	48.6
無回答	20	3.3
全 体	601	100.0

全体で見ると「いいえ」292件(48.6%)、「はい」289件(48.1%)となっている。

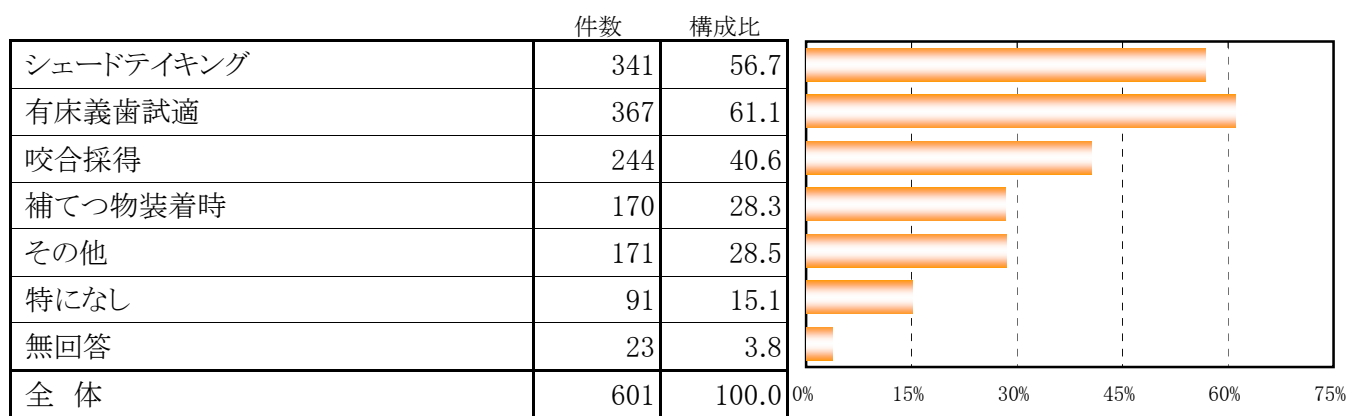
グラフ① 〔1. ⑥従事者数〕 × 〔問 6. 歯科診療所等から有床義歯以外の修理委託有無〕



グラフ② 〔1. ⑧主な業務内容〕 × 〔問 6. 歯科診療所等から有床義歯以外の修理委託有無〕

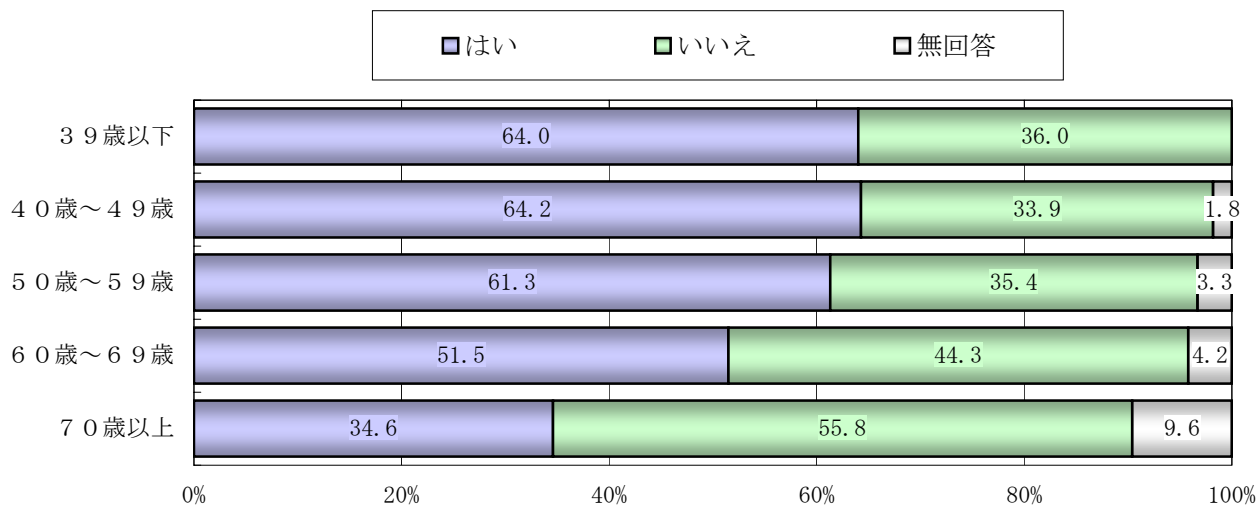


問7. 医療保険制度上、歯科技工加算として算定した方が良い内容

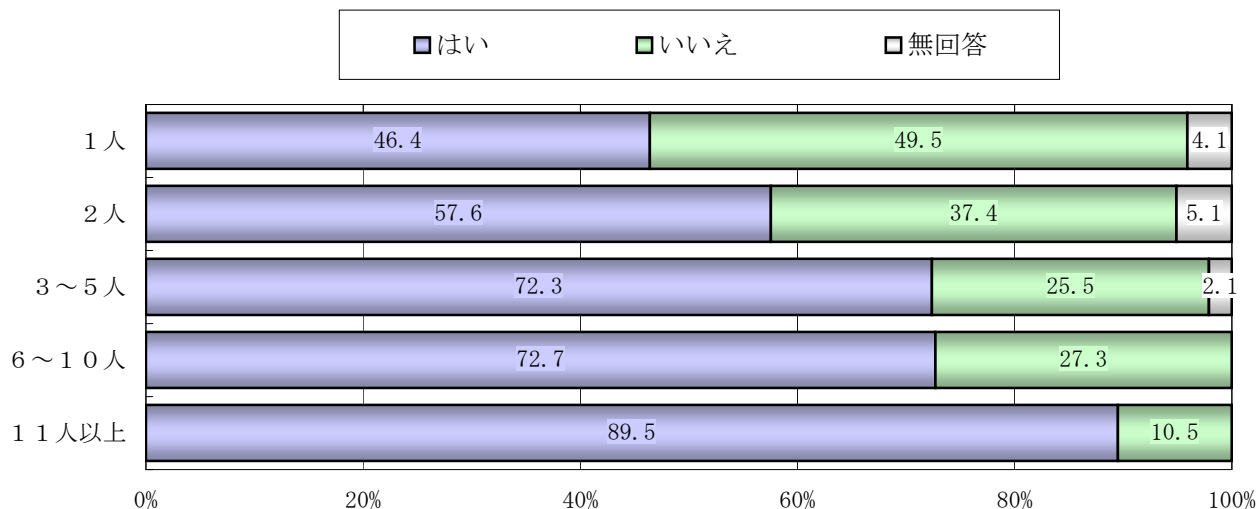


全体で見ると「有床義歯試適」367件(61.1%)、「シェードテイキング」341件(56.7%)、「咬合採得」244件(40.6%)の順となっている。

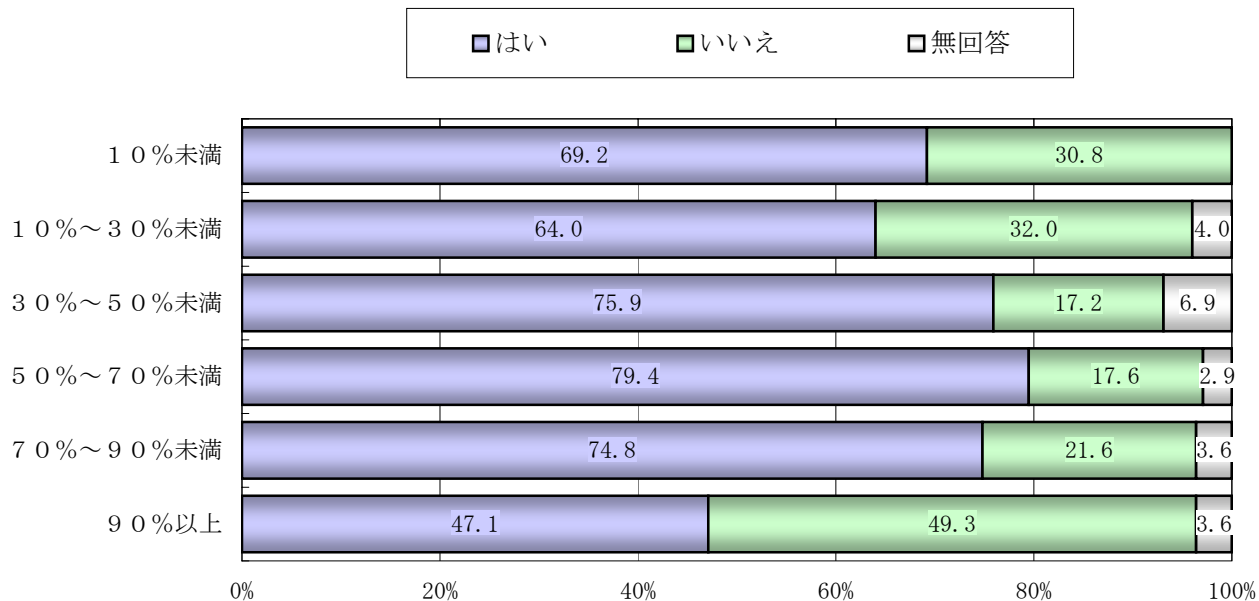
グラフ① 〔1. ②年齢〕 × 〔問7. シェードテイキング〕



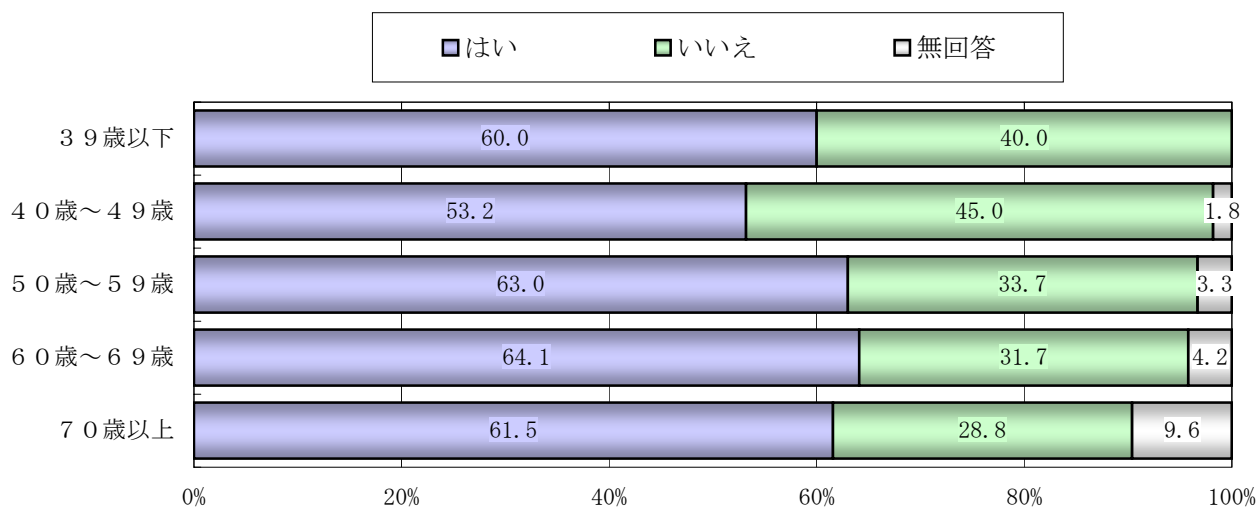
グラフ② 〔1. ⑥従事者数〕 × 〔問7. シェードテイキング〕



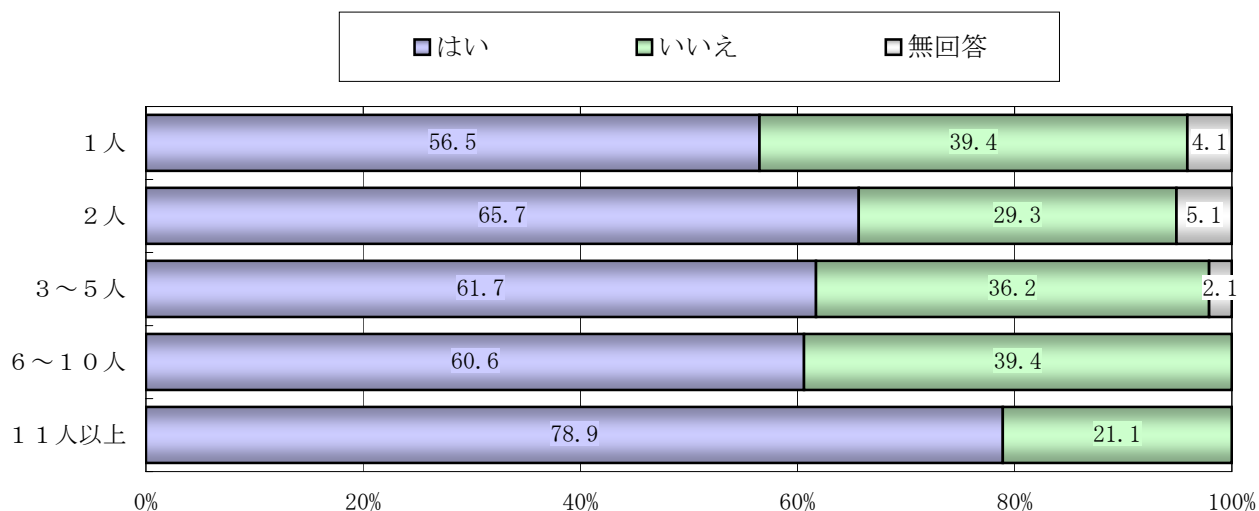
グラフ③ 〔1. ⑦保険技工の割合〕 × 〔問7. シェードテイキング〕



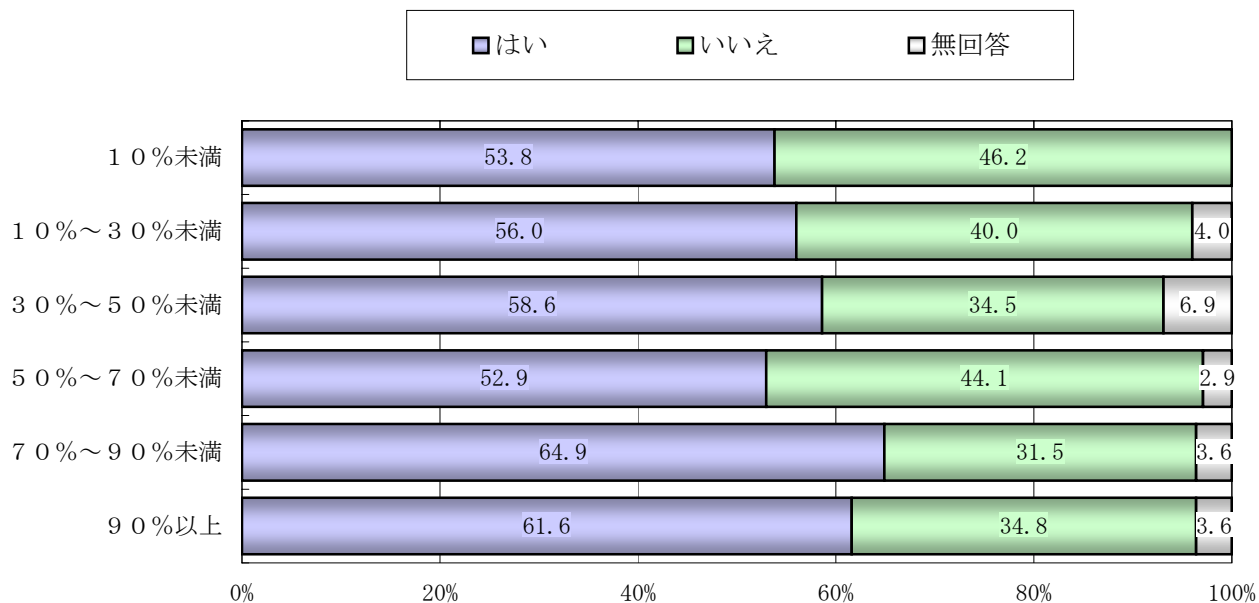
グラフ④ 〔1. ②年齢〕 × 〔問7. 有床義歯試適〕



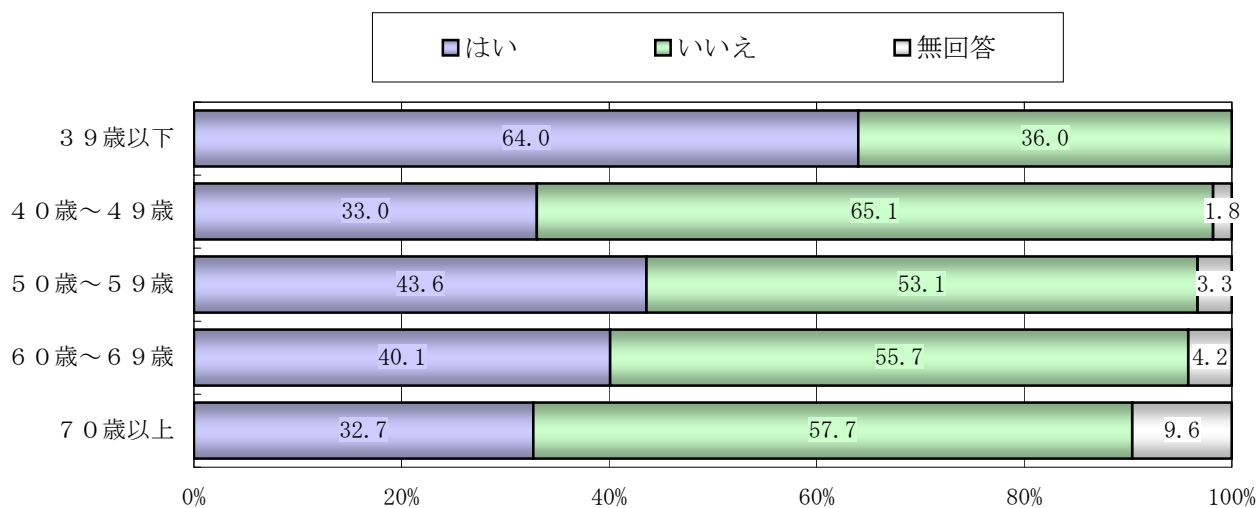
グラフ⑤ 〔1. ⑥従事者数〕 × 〔問7. 有床義歯試適〕



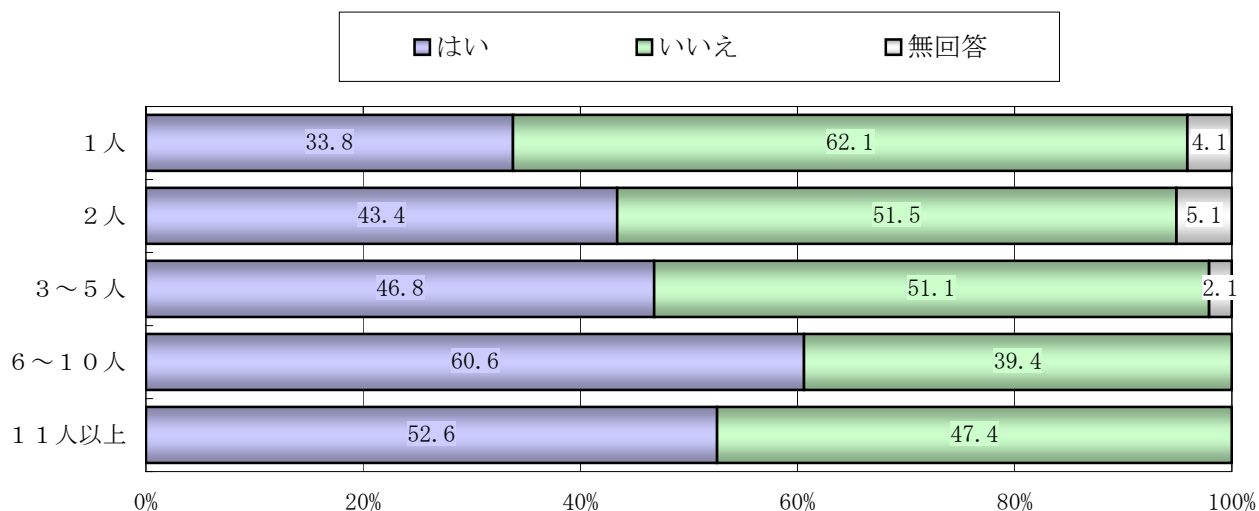
グラフ⑥ 〔1. ⑦保険技工の割合〕 × 〔問7. 有床義歯試適〕



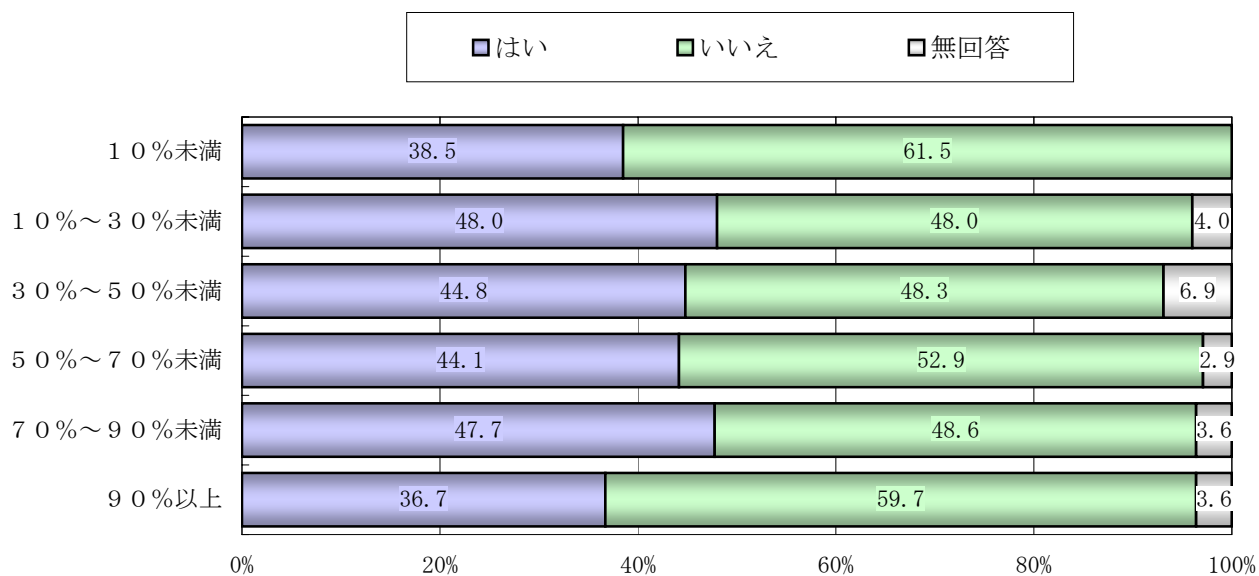
グラフ⑦ 〔1. ②年齢〕 × 〔問7. 咬合採得〕



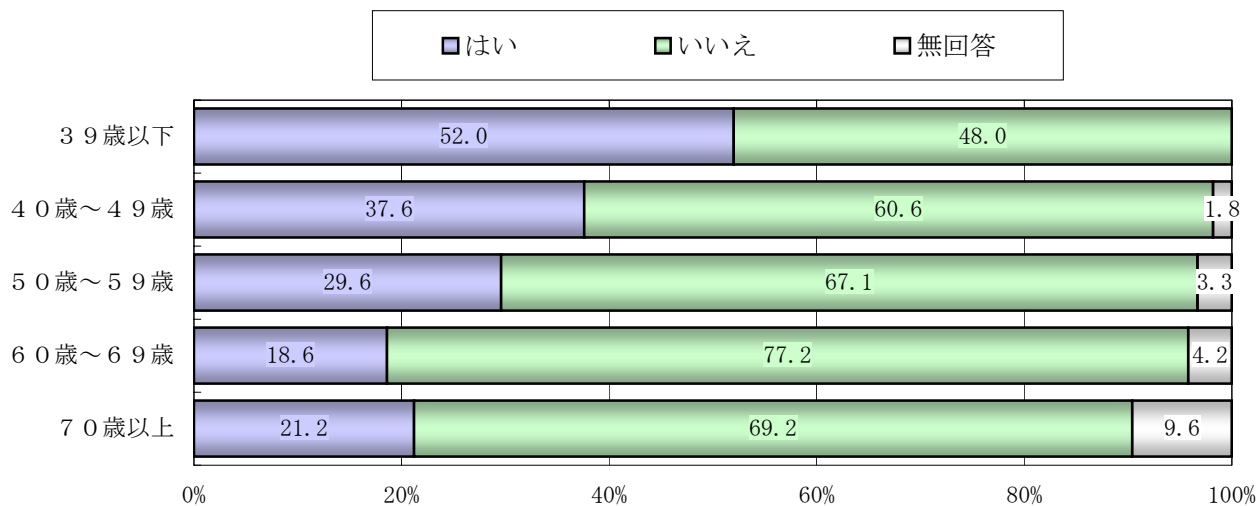
グラフ⑧ 〔1. ⑥従事者数〕 × 〔問7. 咬合採得〕



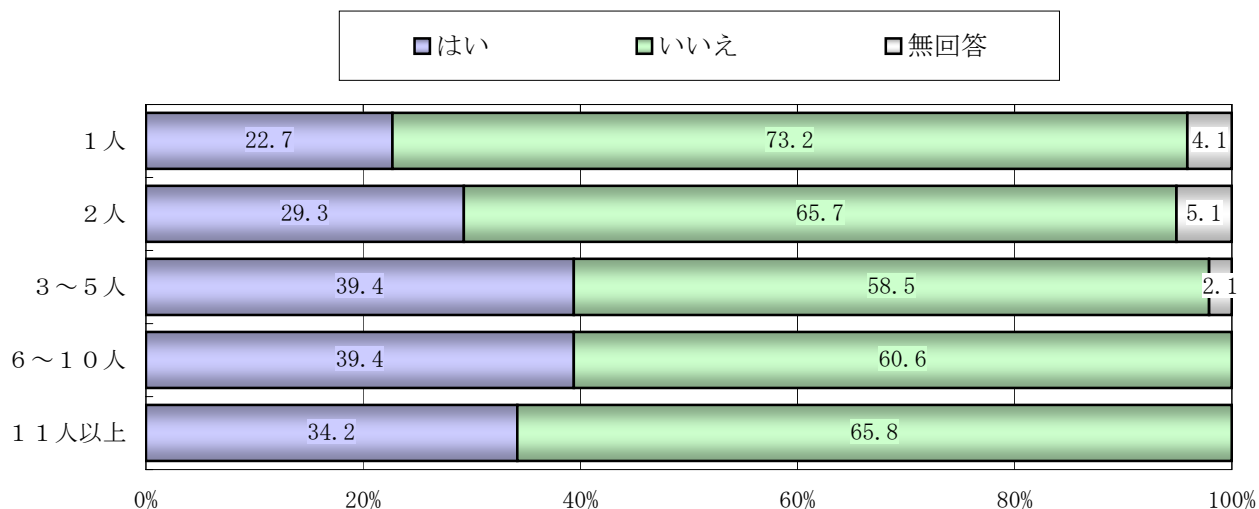
グラフ⑨ 〔1. ⑦保険技工の割合〕 × 〔問7. 咬合採得〕



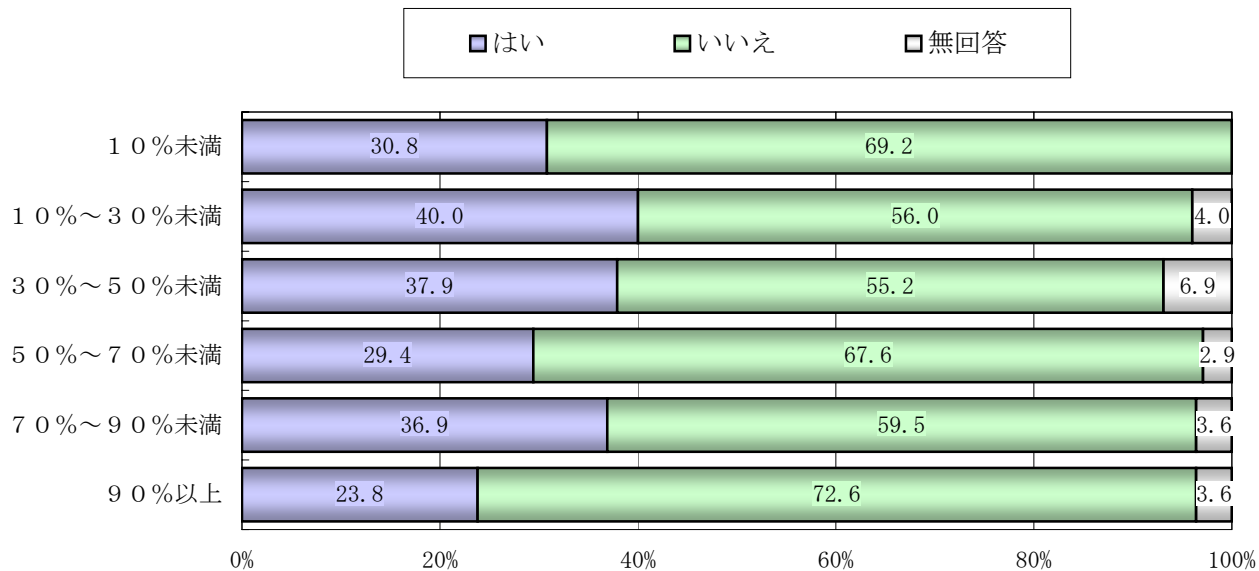
グラフ⑩ 〔1. ②年齢〕 × 〔問7. 補てつ物装着時〕



グラフ⑪ 〔1. ⑥従事者数〕 × 〔問7. 補てつ物装着時〕



グラフ⑫ 〔1. ⑦保険技工の割合〕 × 〔問7. 補てつ物装着時〕



●「その他」の記述内容と分析

主な自由記載事項	件数	構成比
診療室への立ち合いに関すること	34	20.2
歯冠修復物製作のための作業模型作成に関すること	16	9.5
補てつ物の試適に関すること	13	7.7
義歯補強線埋入に関すること	12	7.1
患者への補てつ物等の説明に関すること	8	4.8
クラスプの鑑付け、クラウンなどの連結作業に関すること	7	4.2
補てつ物等の設計に関すること	7	4.2
歯科技工録の作成と保存に関して	7	4.2
納期など至急の作業について	5	3.0
診断用ワックスパターン作成に関して	3	1.8
その他	56	33.3
全 体	168	100.0

【考 察】

歯科診療所のチェアサイドでの立ち合いによる行為に対して「歯科技工加算」への導入の要望(20.2%)が多い。これは、本会が前回行った「診療室内における歯科補てつ装置の審美性・機能性等の調和および確認等による歯科技工士の技術評価の調査」でも、歯科技工士が歯科医師の指示のもと歯科診療所のチェアサイドで患者と接することで、患者に対してより品質の高い歯科補てつ物を提供することが出来たと報告されていることと関連していると推察される。

現在、歯科技工所に外部委託された場合では、これらの行為に対する費用請求が行われていないケースが多く、保険診療においても診療報酬のなかで評価されるべきとの要望が表れている。

次いで、歯冠修復物製作のための模型作成に関しての要望(9.5%)については、歯科技工をおこなう際に不可欠な模型作成について評価がなされていないからと推察される。また、補てつ物等の試適を行う場合の要望(7.7%)や義歯への補強線埋入に対する評価に関する要望(7.1%)が多いのは、それぞれ歯科医師からの指示が多いことが考えられる。

今回、自由記載項目を包括的に推察すると、本来は歯科医師が診療行為の一部、またはその延長線として行われるべき行為や歯科医療の質的向上を図る作業を、歯科医師、または患者の要求により歯科技工士が行ったり歯科医師と共に行う行為について診療報酬に反映されていない結果として記述されていることが推察される。

Ⅳ. 集計結果報告書 ② 歯科診療所等調査編

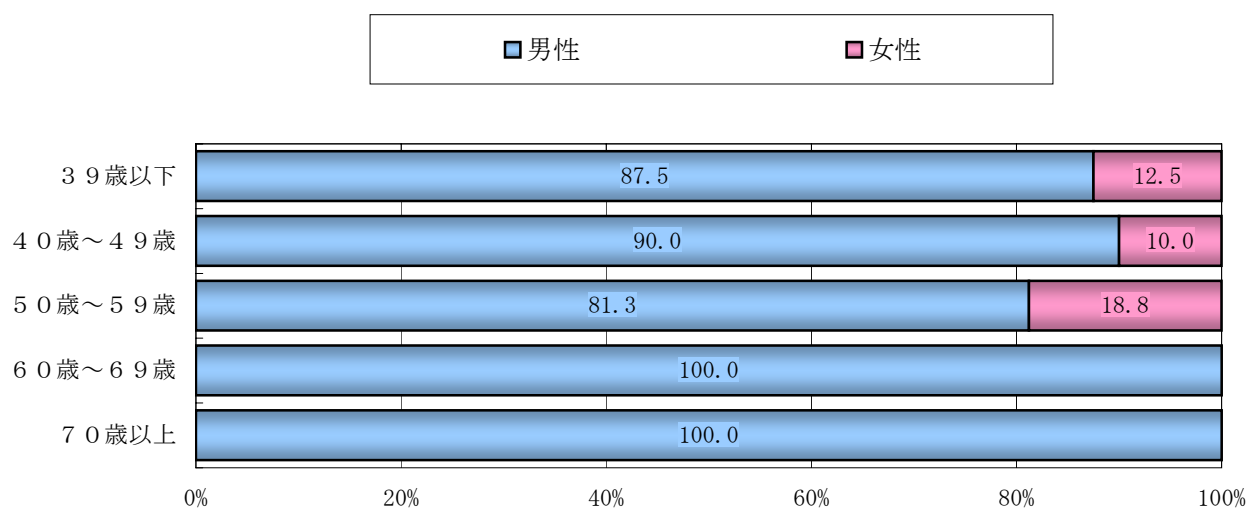
1. 性別

	件数	構成比
男性	79	88.8
女性	10	11.2
無回答	0	0.0
全体	89	100.0



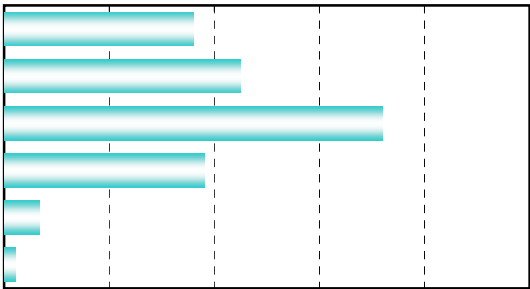
全体で見ると「男性」79件(88.8%)、「女性」10件(11.2%)となっている。9割近くが男性である。

グラフ① 〔2. 年齢〕 × 〔1. 性別〕



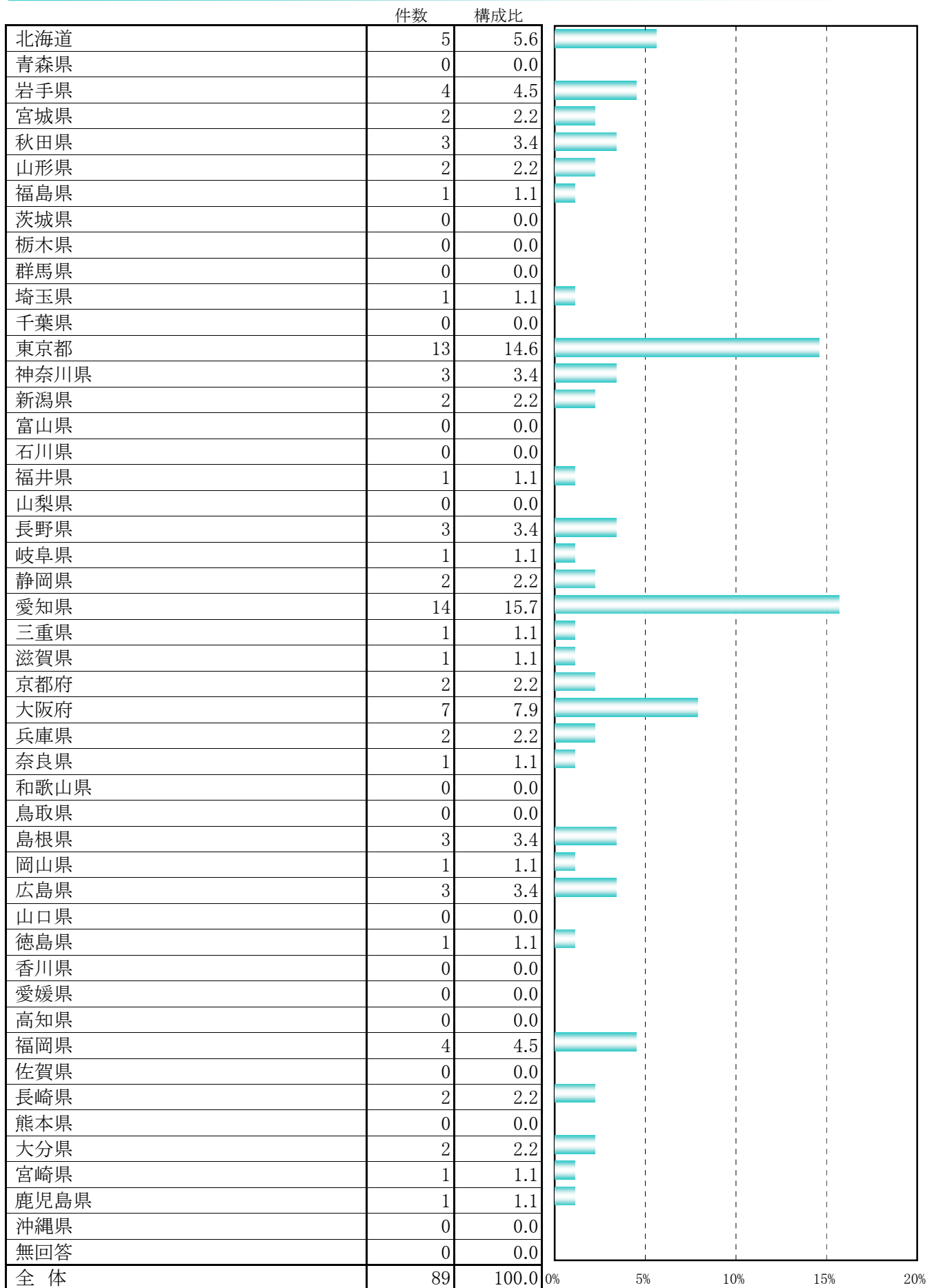
2. 年齢

	件数	構成比
39歳以下	16	18.0
40歳～49歳	20	22.5
50歳～59歳	32	36.0
60歳～69歳	17	19.1
70歳以上	3	3.4
無回答	1	1.1
全体	89	100.0
<平均>		50.6



全体で見ると「50歳～59歳」32件(36.0%)、「40歳～49歳」20件(22.5%)、「60歳～69歳」17件(19.1%)の順となっており、平均年齢は〔50.6歳〕となっている。

3. 施設の所在地



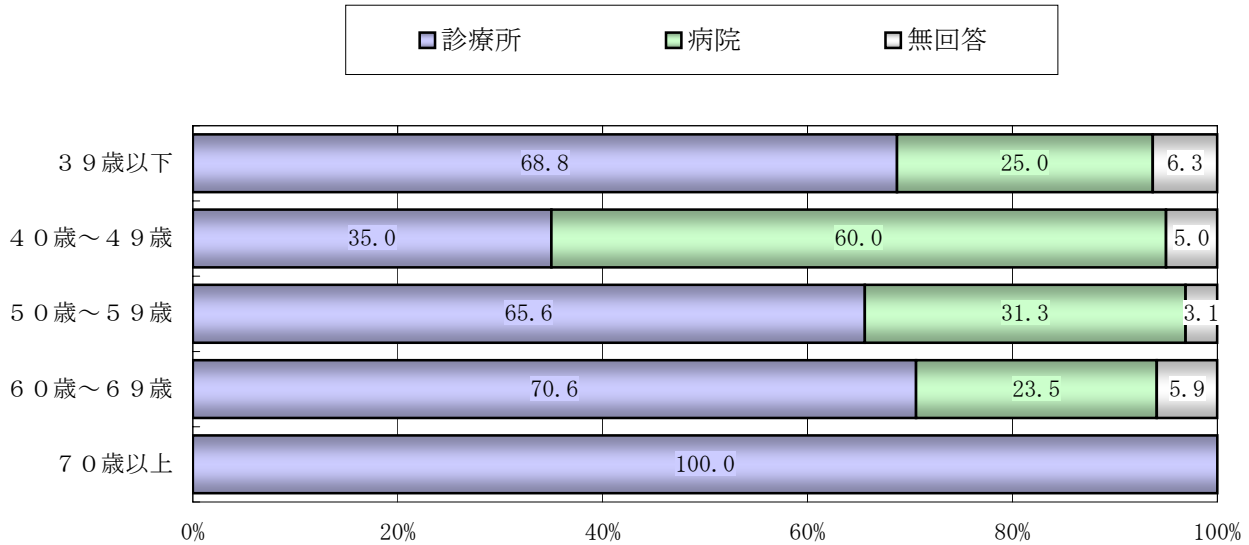
全体で見ると「愛知県」14件(15.7%)、「東京都」13件(14.6%)、「大阪府」7件(7.9%)の順となっている。

4. 施設の形態

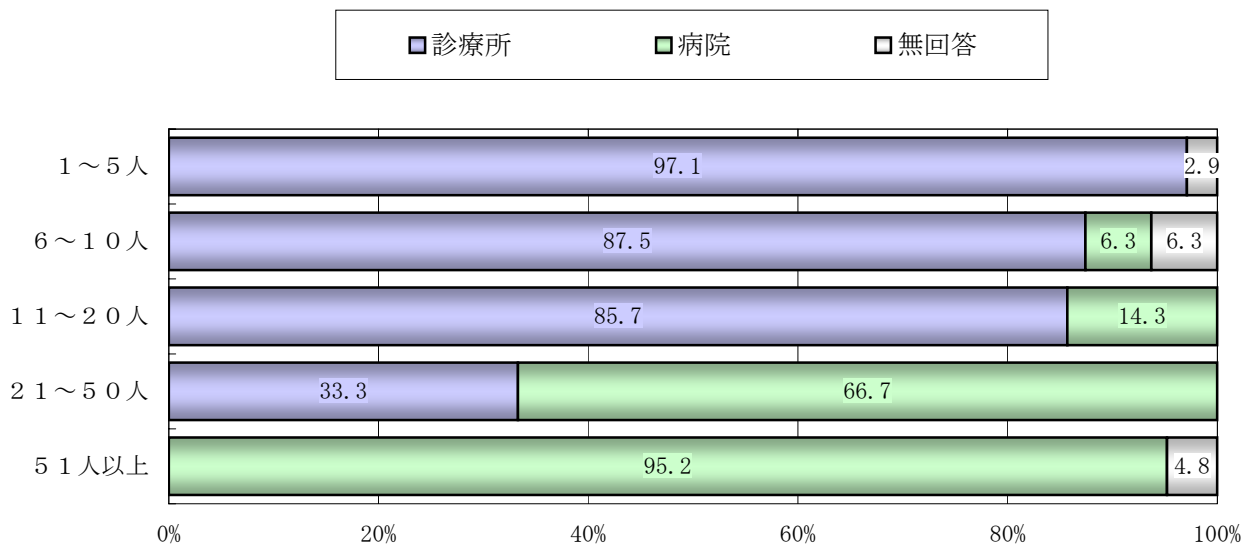
	件数	構成比
診療所	55	61.8
病院	30	33.7
無回答	4	4.5
全体	89	100.0

全体で見ると「診療所」55件(61.8%)、「病院」30件(33.7%)となっている。

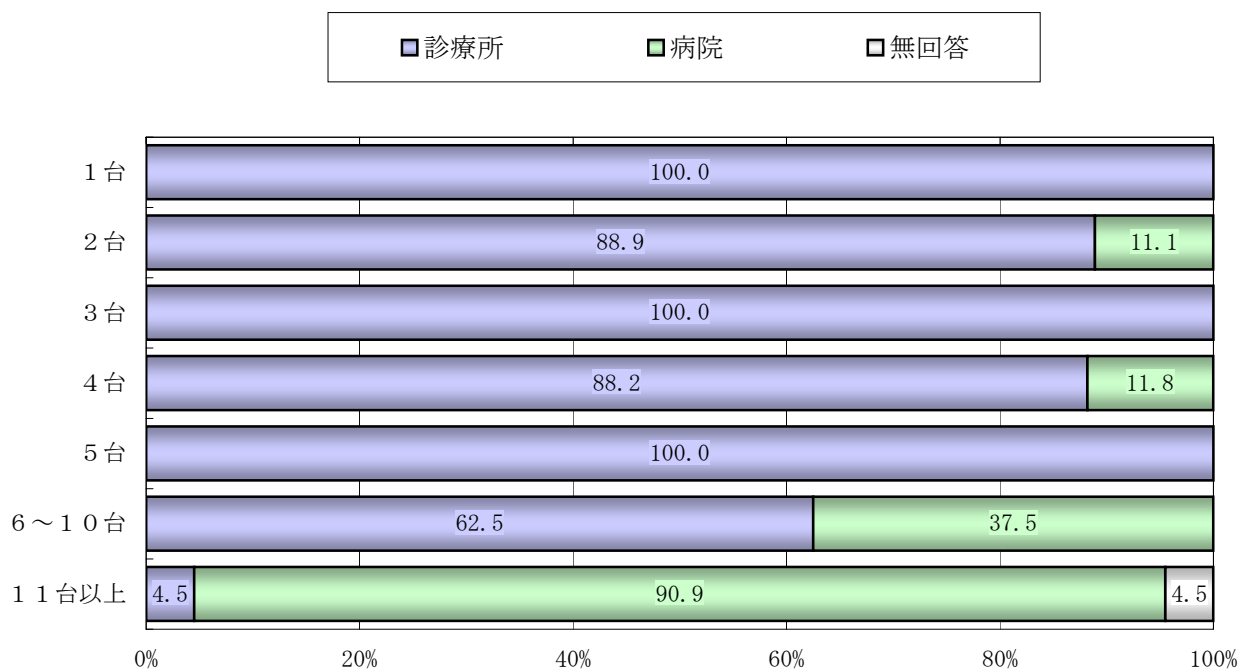
グラフ① 〔2. 年齢〕 × 〔4. 施設の形態〕



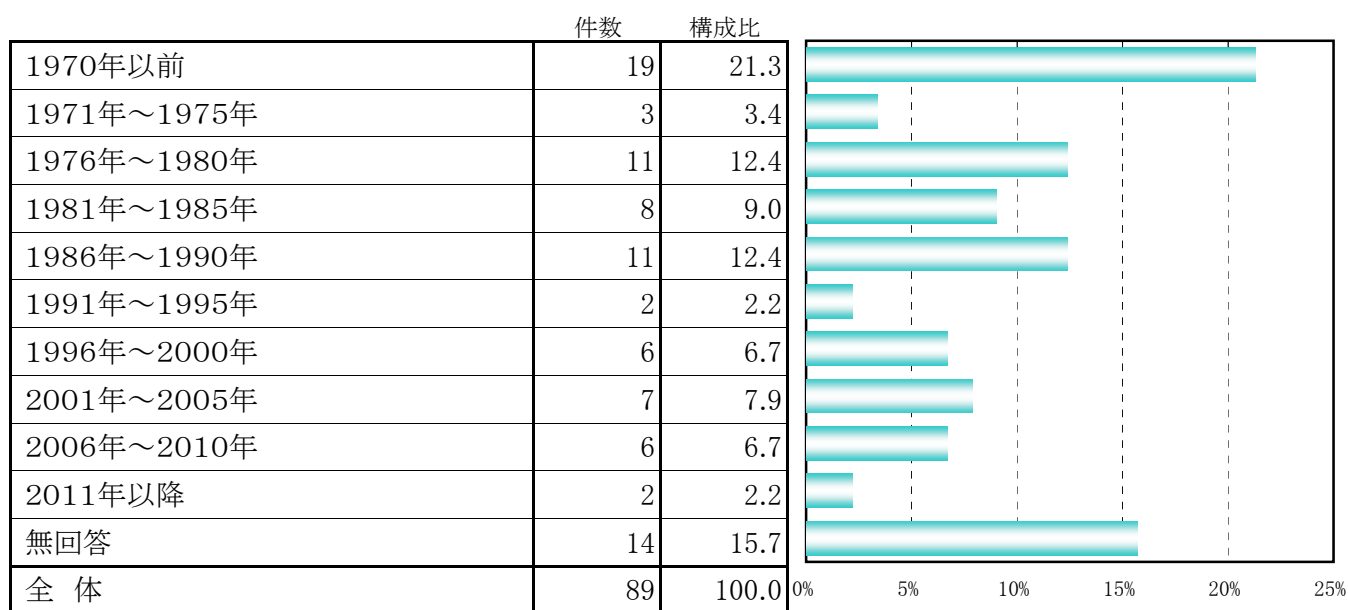
グラフ② 〔6. 従事者数〕 × 〔4. 施設の形態〕



グラフ③ 〔7. 歯科ユニット台数〕 × 〔4. 施設の形態〕

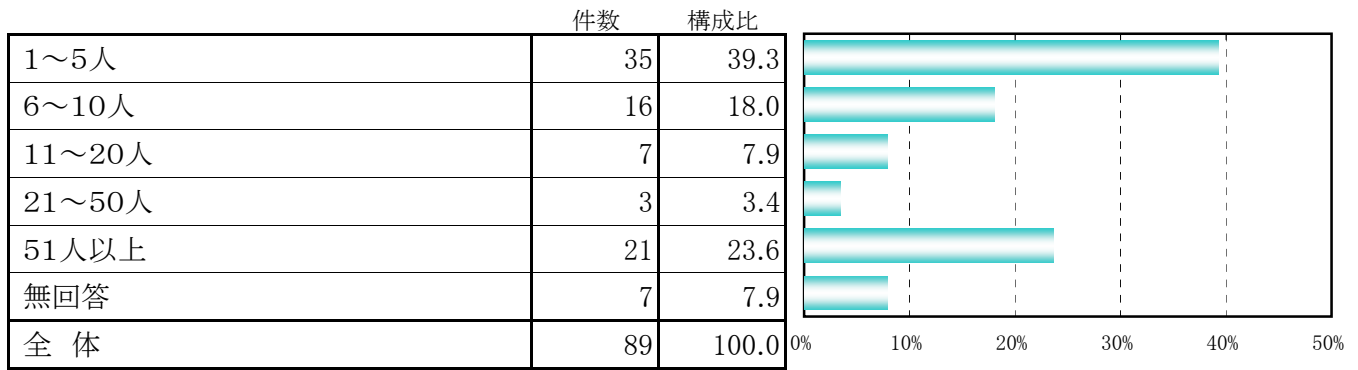


5. 開設時期



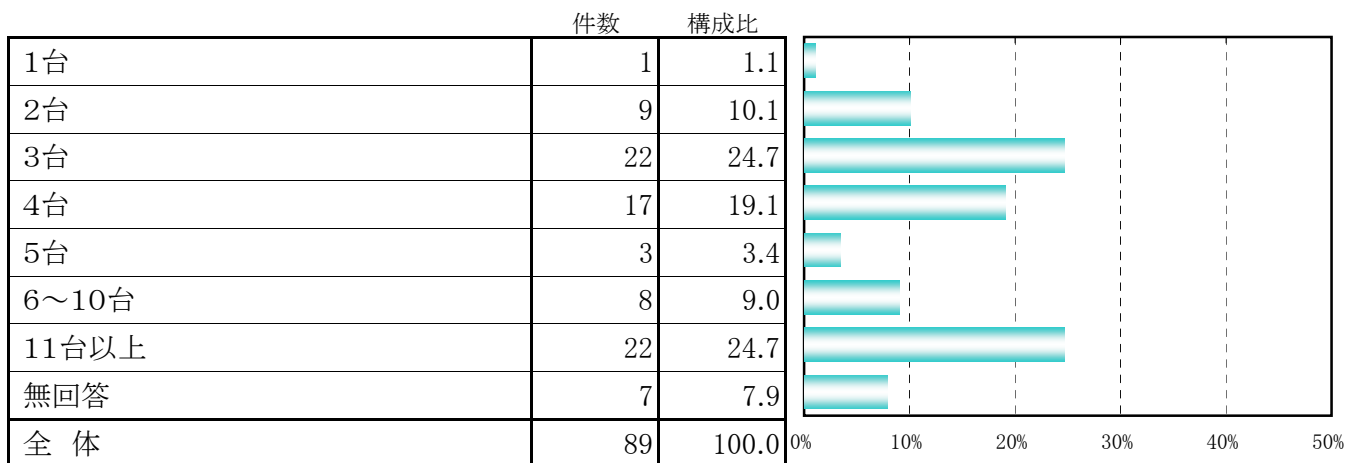
全体で見ると「1970年以前」19件(21.3%)、「1976年～1980年」と「1986年～1990年」11件(12.4%)の順となっている。

6. 従事者数



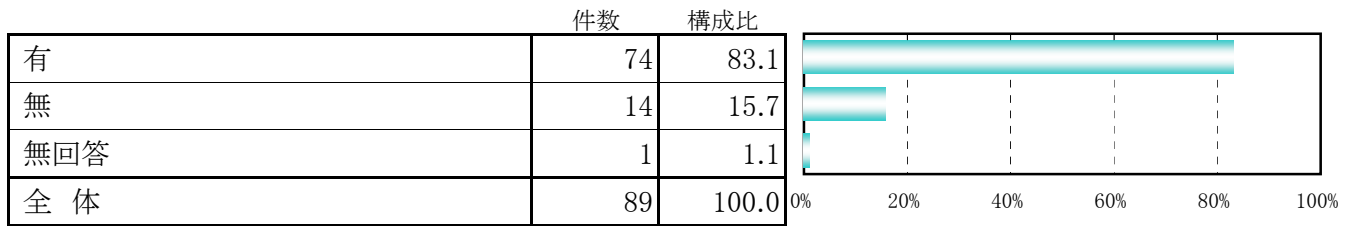
全体で見ると「1～5人」35件(39.3%)、「51人以上」21件(23.6%)、「6～10人」16件(18.0%)の順となっている。

7. 歯科ユニット台数



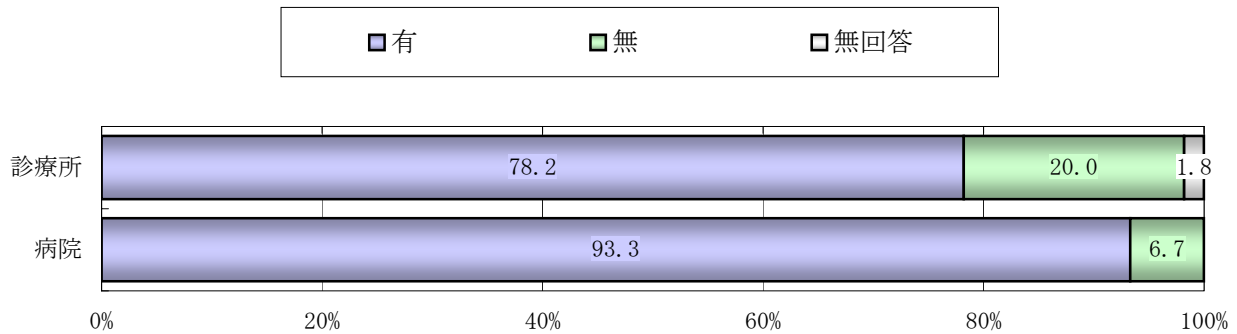
全体で見ると「3台」と「11台以上」22件(24.7%)、「4台」17件(19.1%)の順となっている。

8. 歯科技工室の有無

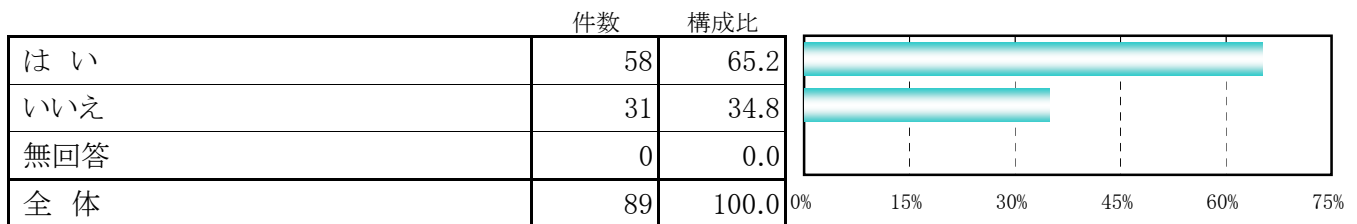


全体で見ると「有」74件(83.1%)、「無」14件(15.7%)となっている。

グラフ① 〔4. 施設の形態〕 × 〔8. 歯科技工室の有無〕

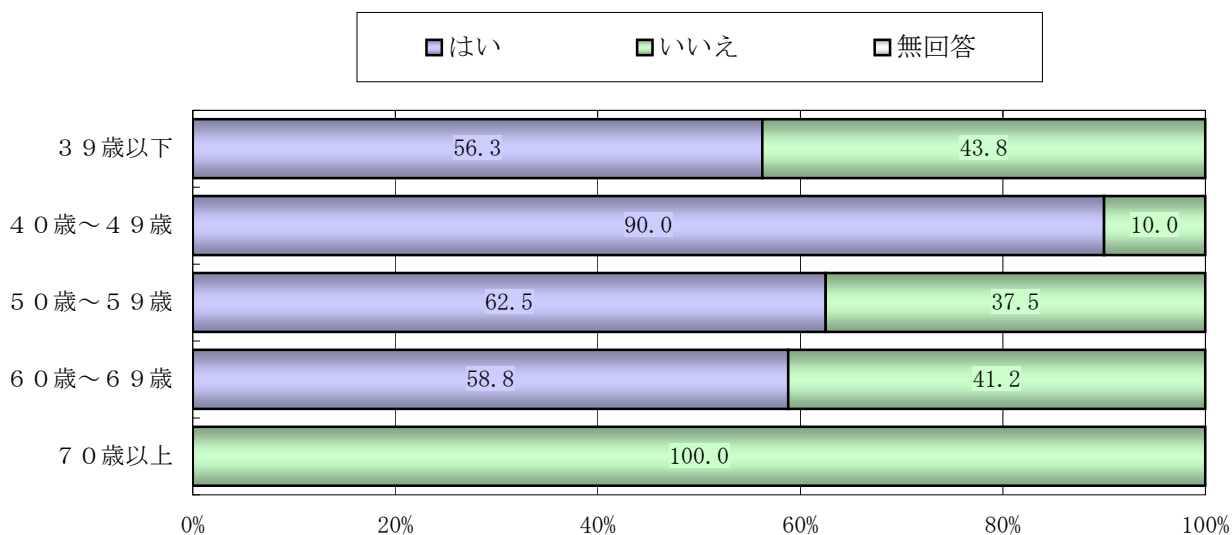


問1. 歯科技工士の配置有無

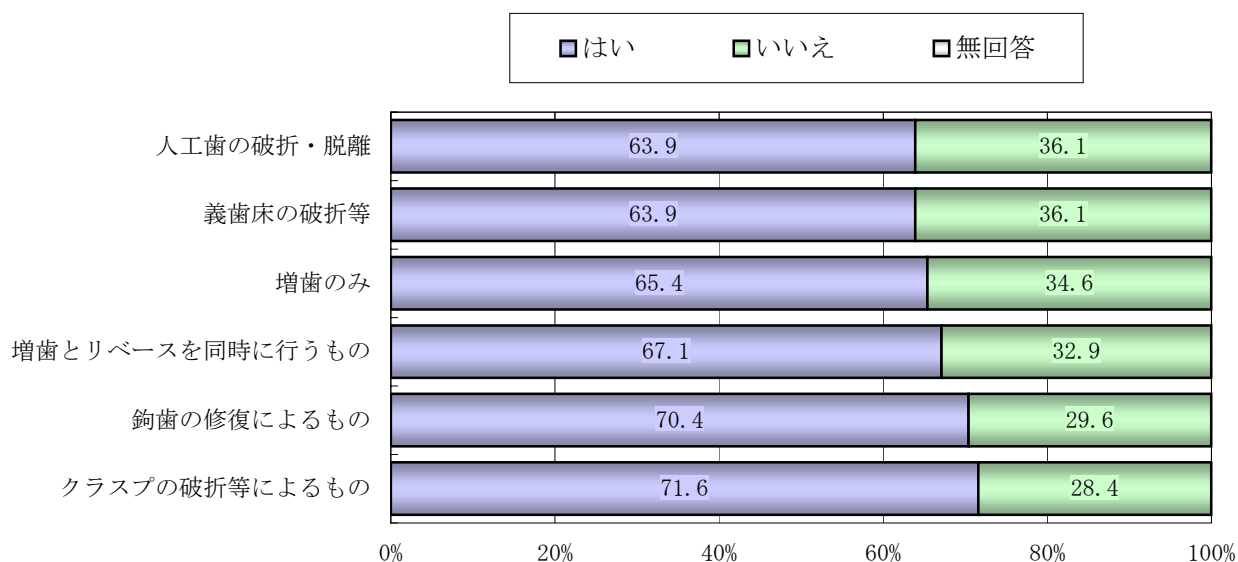


全体で見ると「はい」58件(65.2%)、「いいえ」31件(34.8%)となっている。

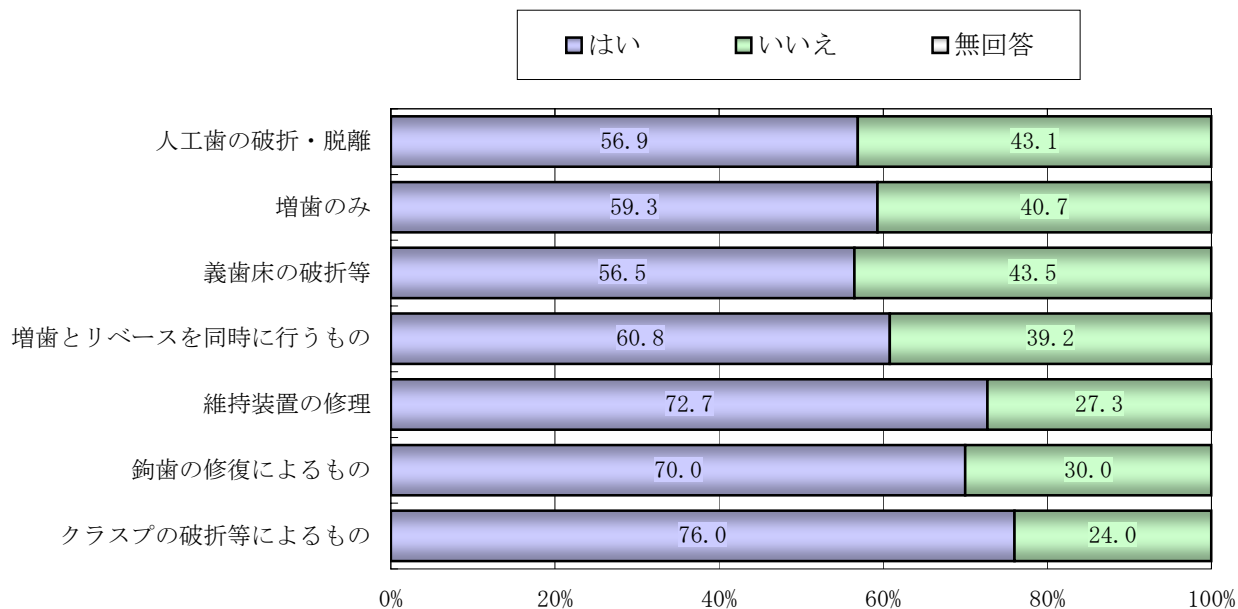
グラフ① 〔1. ②年齢〕 × 〔問1. 歯科技工士の配置有無〕



グラフ② 〔問5. 施設内で行う有床義歯の修理内容〕 × 〔問1. 歯科技工士の配置有無〕

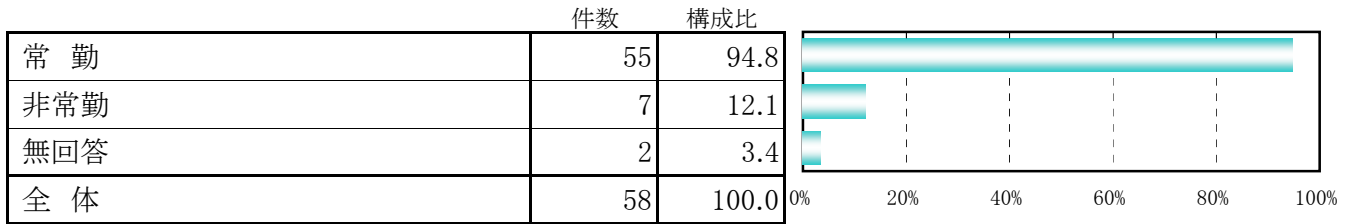


グラフ③ 〔問7. 歯科医師自ら行う有床義歯の修理内容〕 × 〔問1. 歯科技工士の配置有無〕



問2. 施設内に配置している歯科技工士

問1で「はい」を選択した方が対象

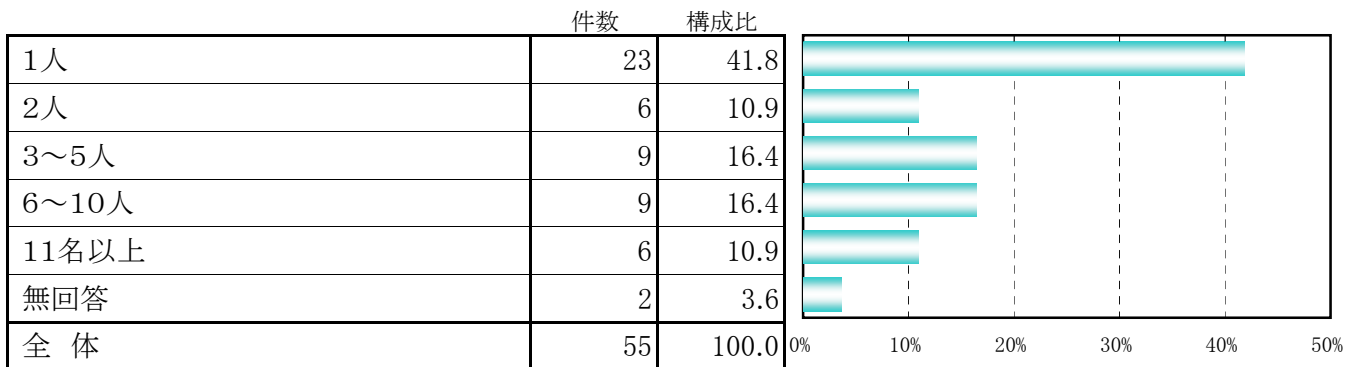


全体で見ると「常勤」55件(94.8%)、「非常勤」7件(12.1%)となっている。

問2. ①歯科技工士の人数／常勤

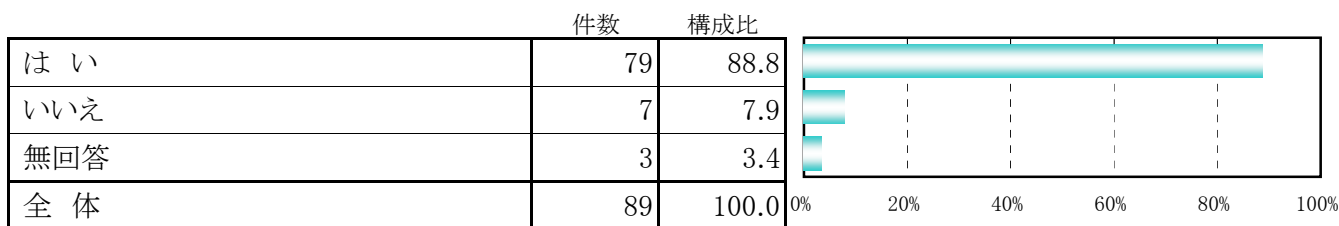
問1で「はい」を選択した方が対象

問2で「常勤」を選択した方が対象



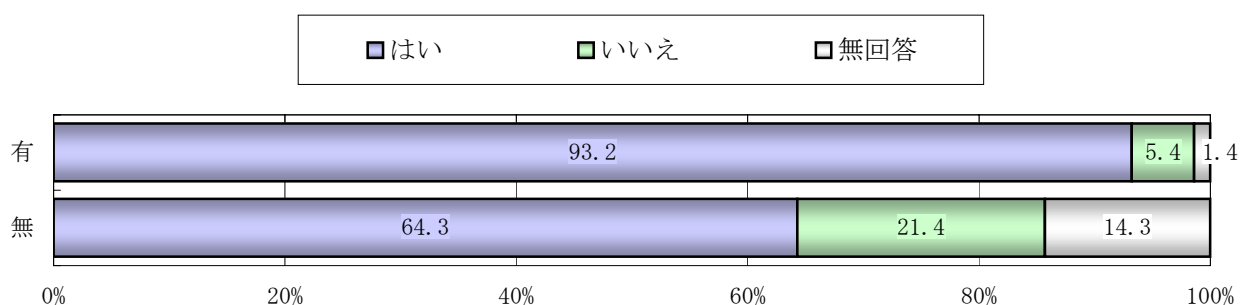
全体で見ると「1人」23件(41.8%)、「3～5人」と「6～10人」9件(16.4%)の順となっている。

問3. 有床義歯修理等に必要な機器の整備有無



全体で見ると「はい」79件(88.8%)、「いいえ」7件(7.9%)となっている。

グラフ① 〔8. 歯科技工室の有無〕 × 〔問3. 有床義歯修理等に必要な機器の整備有無〕

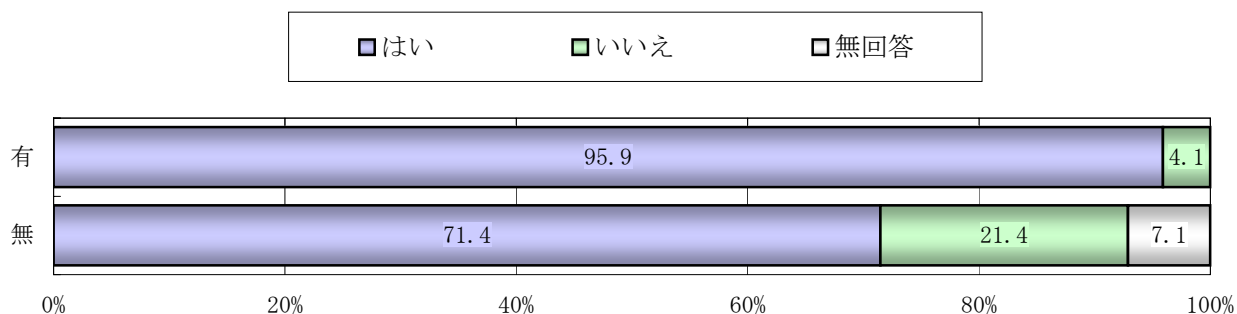


問4. 施設内で有床義歯修理等の実施有無

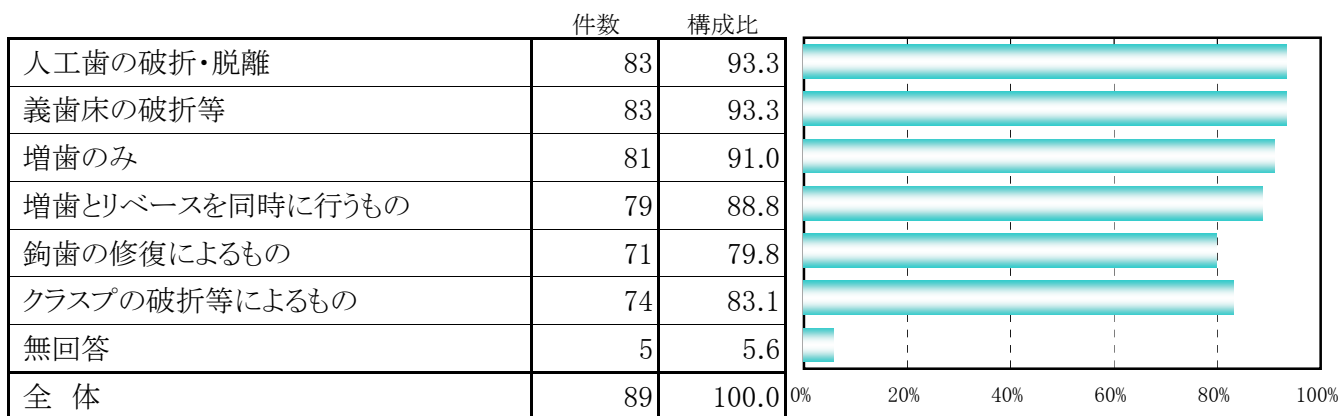


全体で見ると「はい」82件(92.1%)、「いいえ」6件(6.7%)となっている。

グラフ① 〔8. 歯科技工室の有無〕 × 〔問4. 施設内で有床義歯修理等の実施有無〕



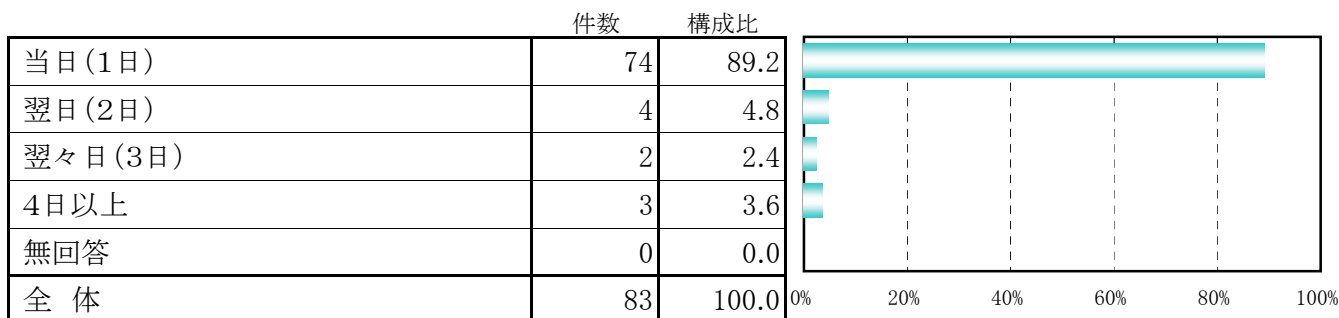
問5. 施設内で行う有床義歯（保険）の修理内容



全体で見ると「人工歯の破折・脱離」と「義歯床の破折等」83件(93.3%)、「増歯のみ」81件(91.0%)の順となっている。

問5. ①所要日数／人工歯の破折・脱離

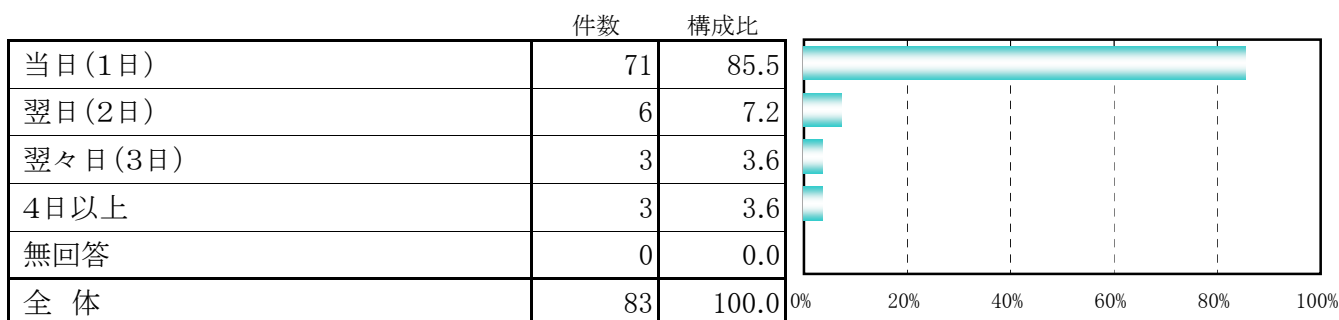
問5で「人工歯の破折・脱離」を選択した方が対象



全体で見ると「当日(1日)」74件(89.2%)、「翌日(2日)」4件(4.8%)、「4日以上」3件(3.6%)の順となっている。

問5. ②所要日数／義歯床の破折等

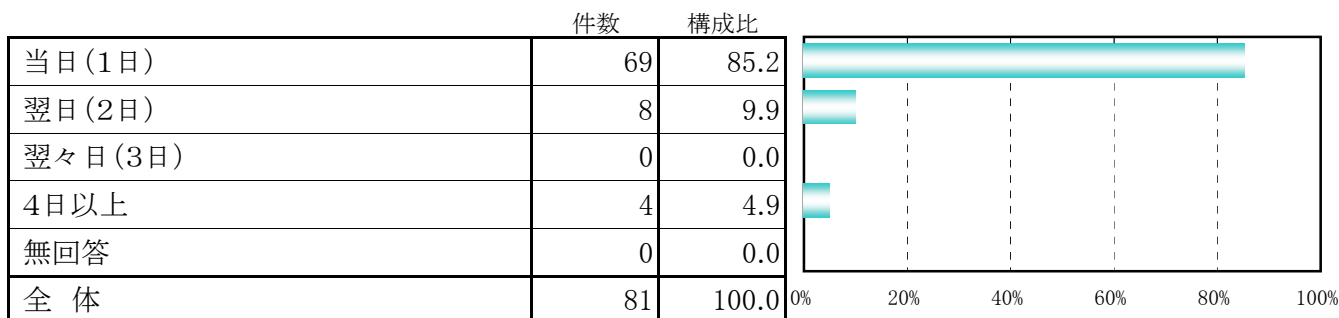
問5で「義歯床の破折等」を選択した方が対象



全体で見ると「当日(1日)」71件(85.5%)、「翌日(2日)」6件(7.2%)、「翌々日(3日)」と「4日以上」3件(3.6%)の順となっている。

問5. ③所要日数／増歯のみ

問5で「増歯のみ」を選択した方が対象



全体で見ると「当日(1日)」69件(85.2%)、「翌日(2日)」8件(9.9%)、「4日以上」4件(4.9%)の順となっている。

問5. ④所要日数／増歯とリベースを同時に行うもの

問5で「増歯とリベースを同時に行うもの」を選択した方が対象



全体で見ると「当日(1日)」52件(65.8%)、「翌々日(3日)」10件(12.7%)、「翌日(2日)」9件(11.4%)の順となっている。

問5. ⑤所要日数／鉤歯の修復によるもの

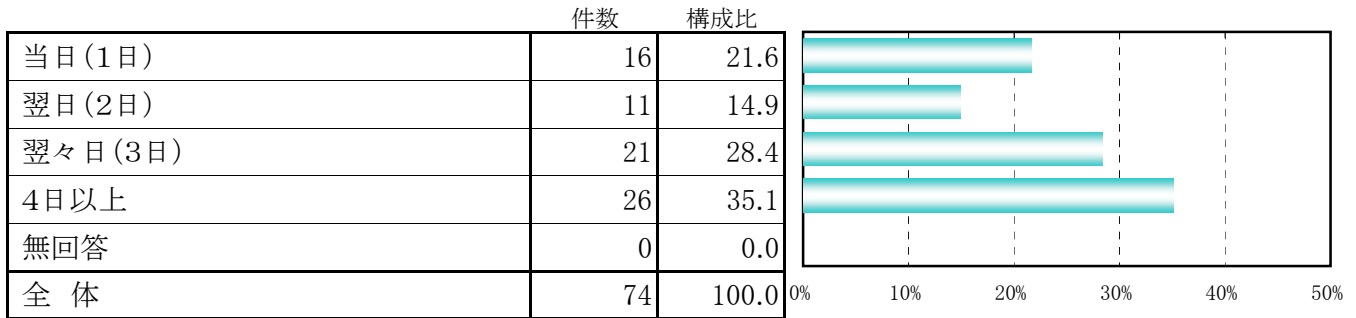
問5で「鉤歯の修復によるもの」を選択した方が対象



全体で見ると「当日(1日)」と「4日以上」23件(32.4%)、「翌々日(3日)」18件(25.4%)の順となっている。

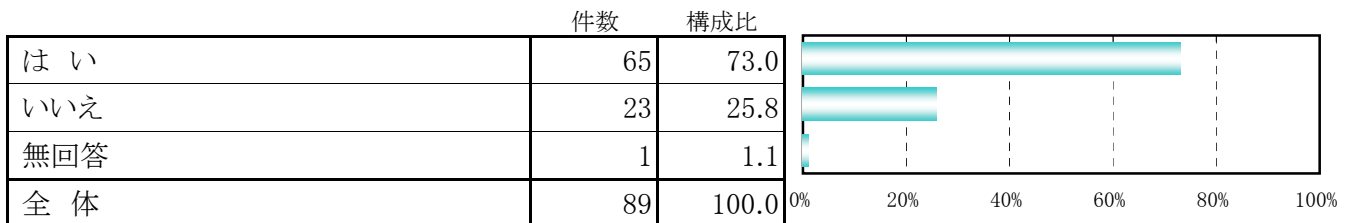
問5. ⑥所要日数／クラスの破折等によるもの

問5で「クラスの破折等によるもの」を選択した方が対象



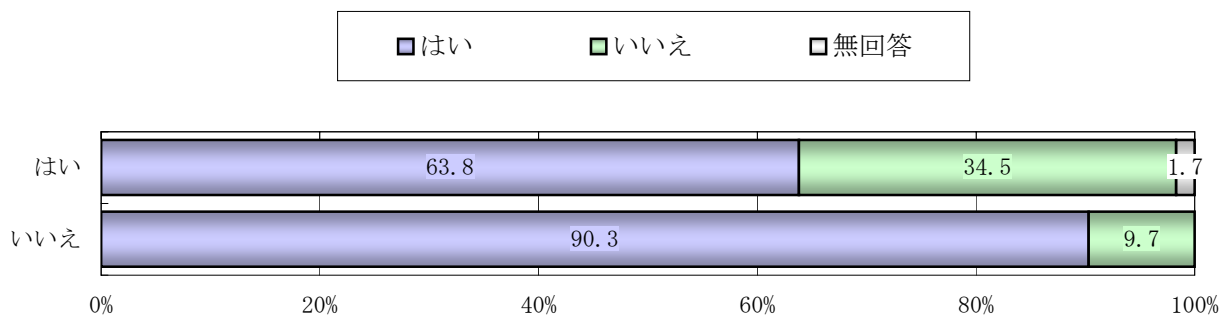
全体で見ると「4日以上」26件(35.1%)、「翌々日(3日)」21件(28.4%)、「当日(1日)」16件(21.6%)の順となっている。

問6. 歯科医師自ら義歯修理の実施有無

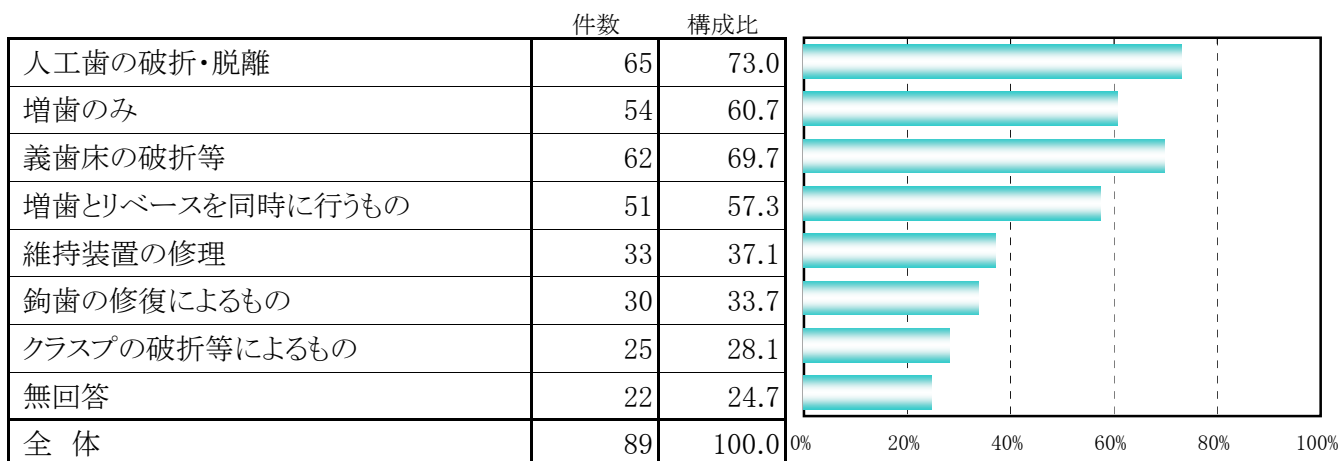


全体で見ると「はい」65件(73.0%)、「いいえ」23件(25.8%)となっている。

グラフ① 〔問1. 歯科技工士の配置有無〕 × 〔問6. 歯科医師自ら義歯修理の実施有無〕

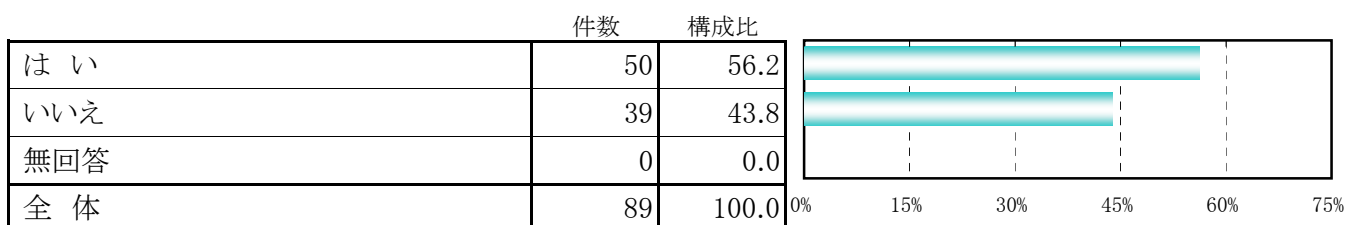


問7. 歯科医師自ら行う有床義歯（保険）の修理内容



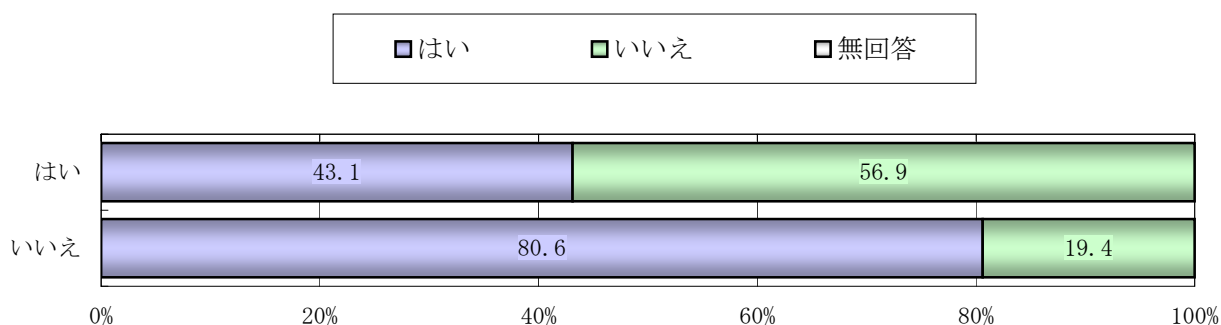
全体で見ると「人工歯の破折・脱離」65件(73.0%)、「義歯床の破折等」62件(69.7%)、「増歯のみ」54件(60.7%)の順となっている。

問8. 施設外の歯科技工所へ義歯修理の委託有無

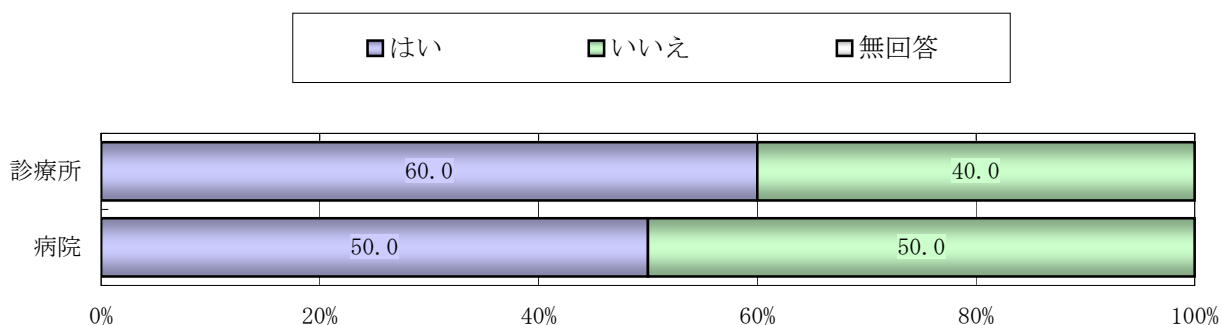


全体で見ると「はい」50件(56.2%)、「いいえ」39件(43.8%)となっている。

グラフ① 〔問1. 歯科技工士の配置有無〕 × 〔問8. 施設外へ義歯修理の委託有無〕

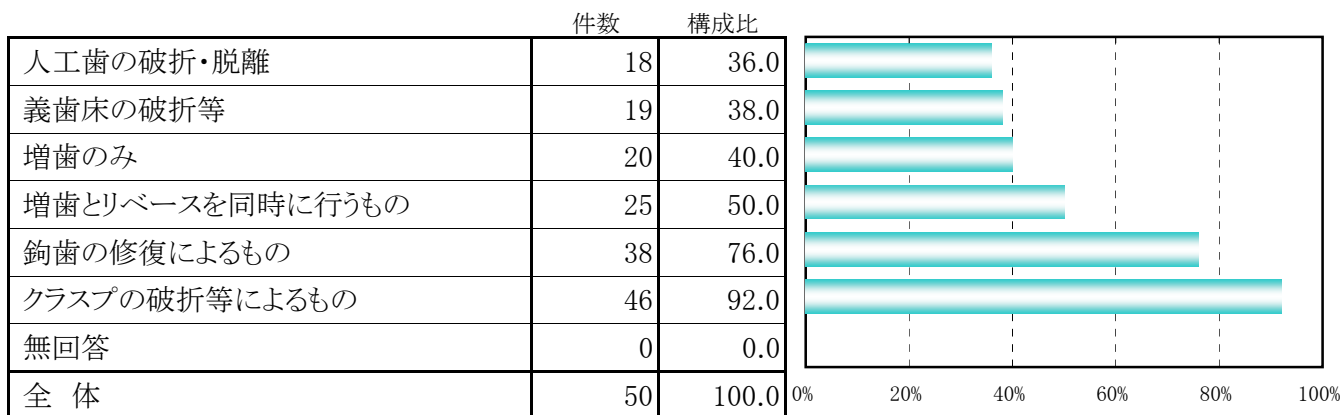


グラフ② 〔1. ④施設の形態〕 × 〔問8. 施設外へ義歯修理の委託有無〕



問9. 委託する場合の有床義歯（保険）の修理内容

問8で「はい」を選択した方が対象



全体で見ると「クラスプの破折等によるもの」46件(92.0%)、「鉤歯の修復によるもの」38件(76.0%)、「増歯とリベースを同時に行うもの」25件(50.0%)の順となっている。

問9. ①所要日数／人工歯の破折・脱離

問8で「はい」を選択した方が対象

問9で「人工歯の破折・脱離」を選択した方が対象



全体で見ると「4日以上」8件(44.4%)、「翌日(2日)」6件(33.3%)、「翌々日(3日)」3件(16.7%)の順となっている。

問9. ②所要日数／義歯床の破折等

問8で「はい」を選択した方が対象

問9で「義歯床の破折等」を選択した方が対象



全体で見ると「4日以上」8件(42.1%)、「翌日(2日)」6件(31.6%)、「翌々日(3日)」4件(21.1%)の順となっている。

問9. ③所要日数／増歯のみ

問8で「はい」を選択した方が対象

問9で「増歯のみ」を選択した方が対象

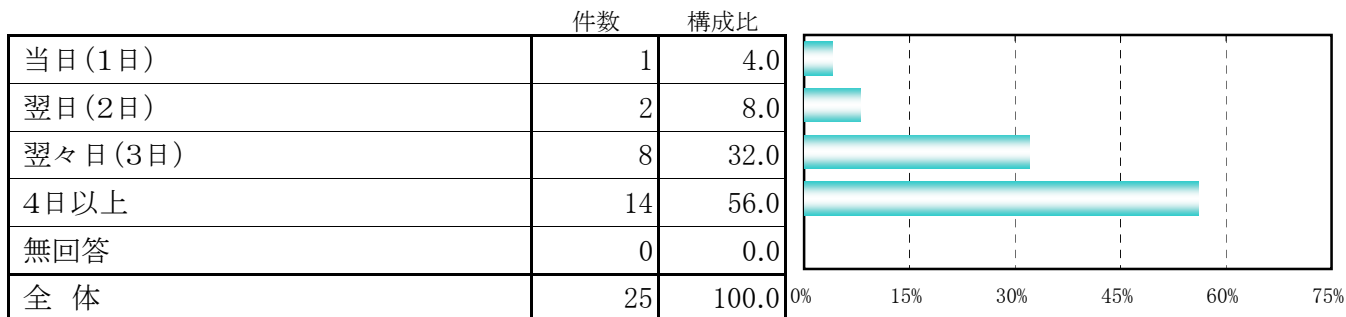


全体で見ると「4日以上」8件(40.0%)、「翌日(2日)」7件(35.0%)、「翌々日(3日)」4件(20.0%)の順となっている。

問9. ④所要日数／増歯とリベースを同時に行うもの

問8で「はい」を選択した方が対象

問9で「増歯とリベースを同時に行うもの」を選択した方が対象

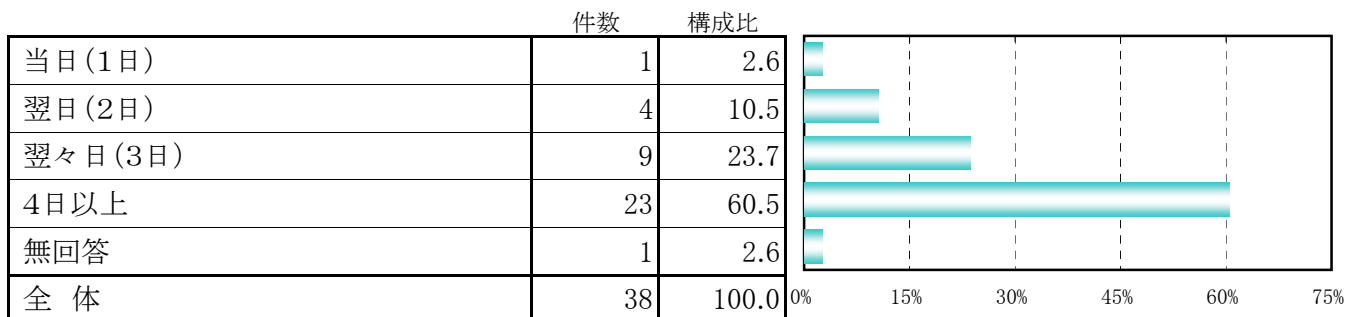


全体で見ると「4日以上」14件(56.0%)、「翌々日(3日)」8件(32.0%)、「翌日(2日)」2件(8.0%)の順となっている。

問9. ⑤所要日数／鉤歯の修復によるもの

問8で「はい」を選択した方が対象

問9で「鉤歯の修復によるもの」を選択した方が対象



全体で見ると「4日以上」23件(60.5%)、「翌々日(3日)」9件(23.7%)、「翌日(2日)」4件(10.5%)の順となっている。

問9. ⑥所要日数／クラスの破折等によるもの

問8で「はい」を選択した方が対象

問9で「クラスの破折等によるもの」を選択した方が対象



全体で見ると「4日以上」29件(63.0%)、「翌々日(3日)」8件(17.4%)、「翌日(2日)」5件(10.9%)の順となっている。

問10. ①技工料／人工歯の破折・脱離〈1歯あたり〉

問8で「はい」を選択した方が対象

問10で「人工歯の破折・脱離」を選択した方が対象

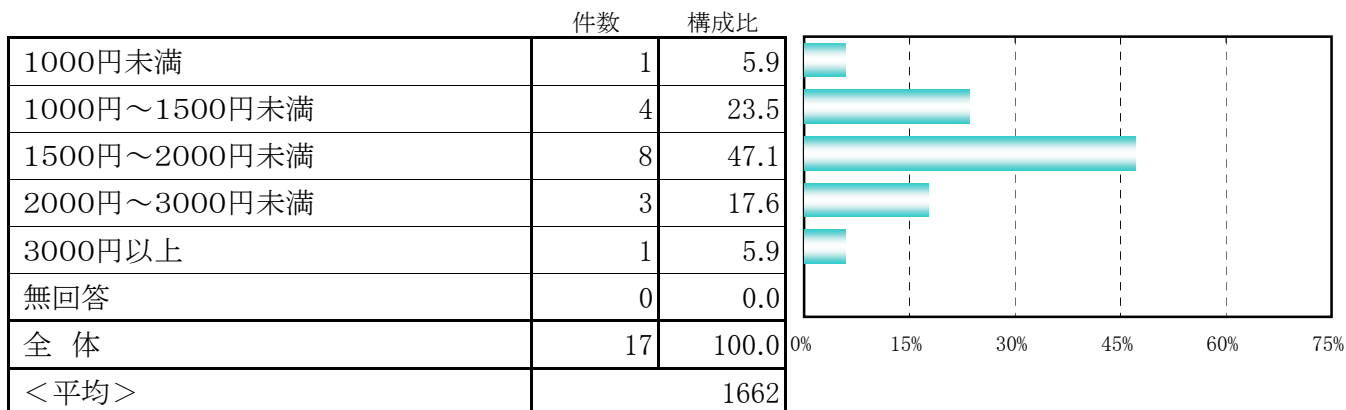


全体で見ると「1500円～2000円未満」9件(69.2%)、「1500円未満」2件(15.4%)と、「2000円以上」1件(7.7%)の順となっており、平均〔1578円〕となっている。

問10. ②技工料／義歯床の破折等〈1床あたり〉

問8で「はい」を選択した方が対象

問10で「義歯床の破折等」を選択した方が対象

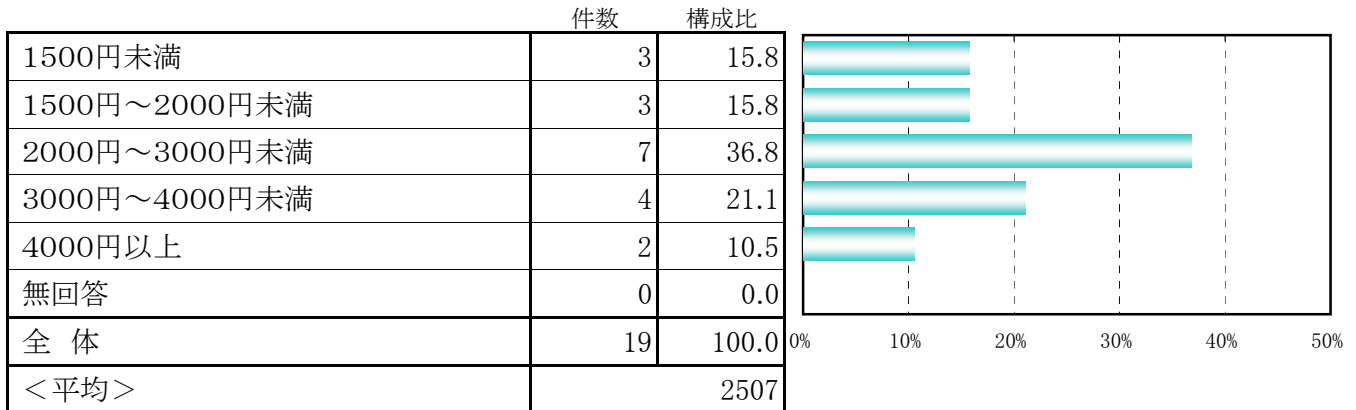


全体で見ると「1500円～2000円未満」8件(47.1%)、「1000円～1500円未満」4件(23.5%)「2000円～3000円未満」3件(17.6%)の順となっており、平均〔1662円〕となっている。

問10. ③技工料／維持装置（鑄造二腕鉤）の作成と義歯への埋入〈1本あたり〉

問8で「はい」を選択した方が対象

問10で「維持装置（鑄造二腕鉤）の作成と義歯への埋入」を選択した方が対象



全体でみると「2000円～3000円未満」7件(36.8%)、「3000円～4000円未満」4件(21.1%)、「1500円未満」と「1500円～2000円未満」3件(15.8%)の順となっており、平均〔2507円〕となっている。

問10. ④技工料／増歯のみ〈1歯あたり〉

問8で「はい」を選択した方が対象

問10で「増歯のみ」を選択した方が対象

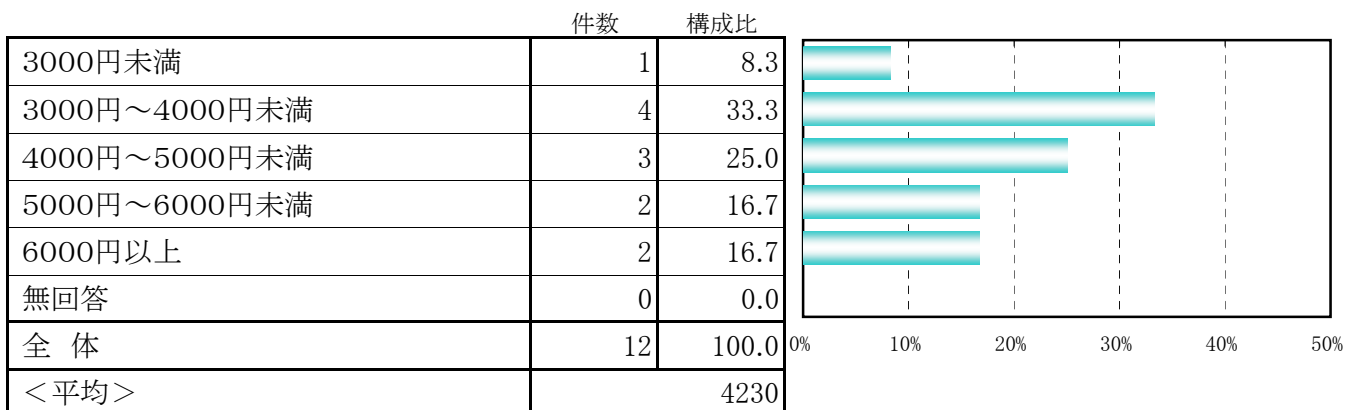


全体でみると「1500円～2000円未満」6件(50.0%)、「1500円未満」と「2000円以上」2件(16.7%)の順となっており、平均〔1594円〕となっている。

問10. ⑤技工料／リベース（換床法）〈1床あたり〉

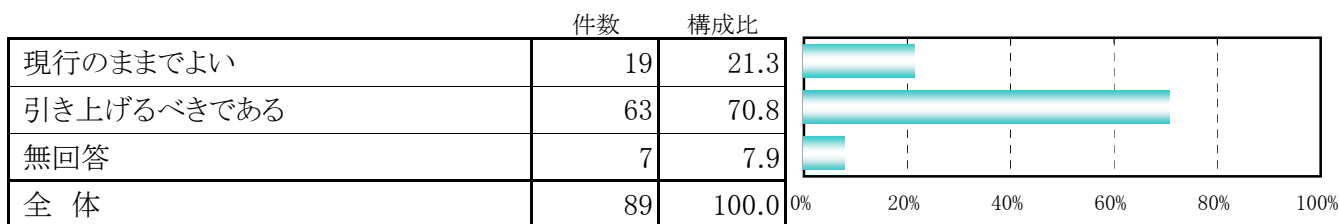
問8で「はい」を選択した方が対象

問10で「リベース（換床法）」を選択した方が対象



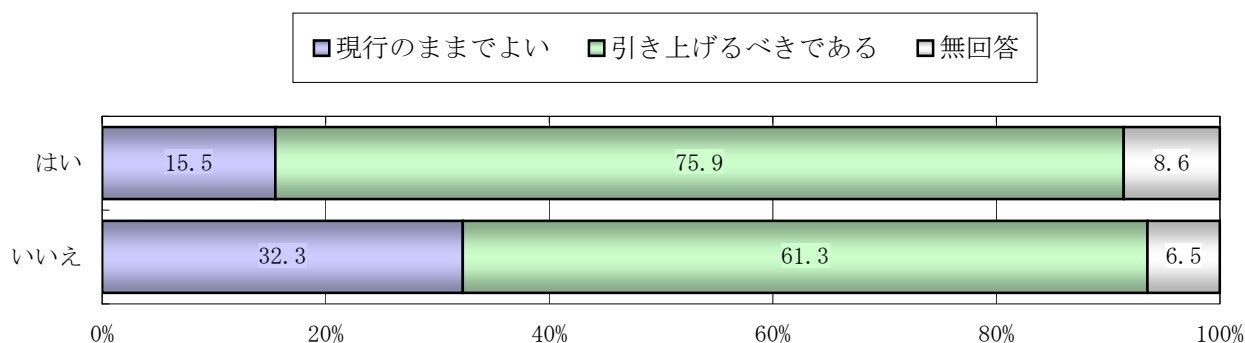
全体でみると「3000円～4000円未満」4件(33.3%)、「4000円～5000円未満」3件(25.0%)、「5000円～6000円未満」と「6000円以上」2件(16.7%)の順となっており、平均〔4230円〕となっている。

問 1 1. 適正と思われる義歯修理点数について



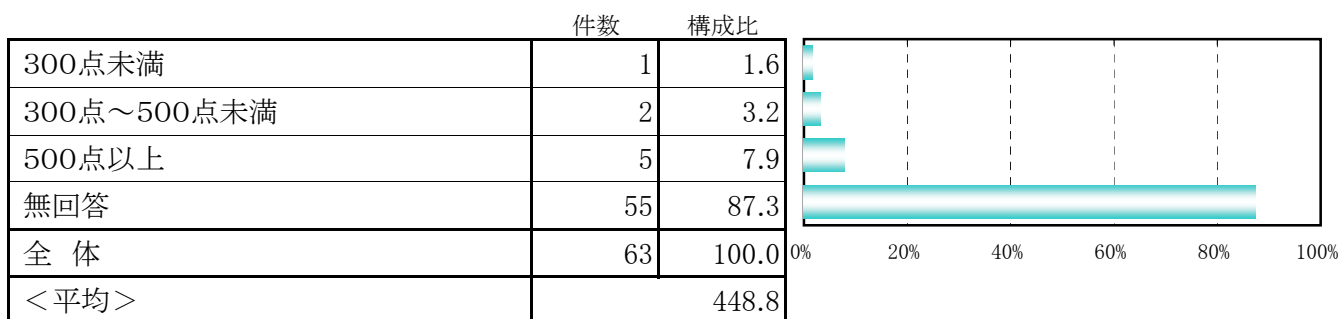
全体で見ると「引き上げるべきである」63件(70.8%)、「現行のままでよい」19件(21.3%)となっている。

グラフ① 〔問 1. 歯科技工士の配置有無〕 × 〔問 1 1. 適正と思われる義歯修理点数について〕



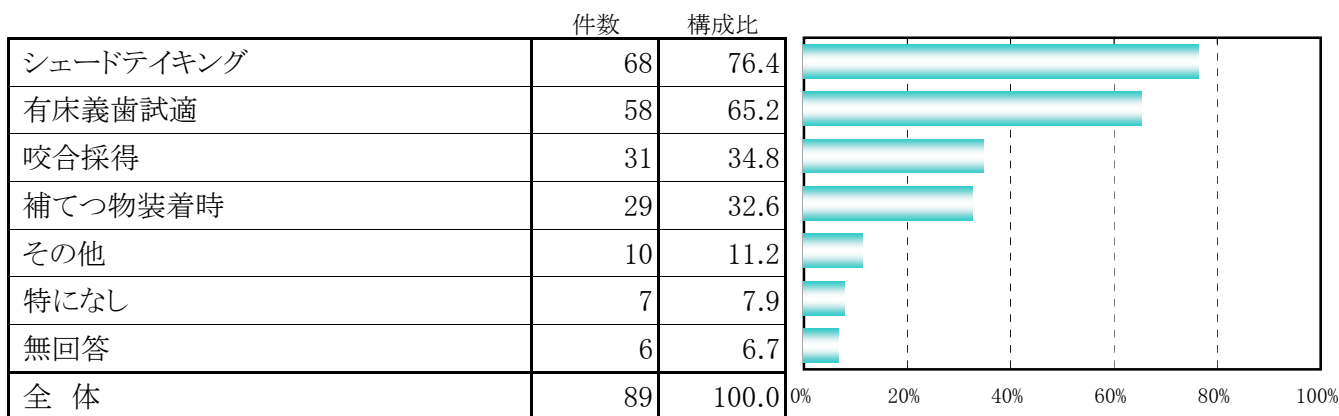
問 1 1. 適正な義歯修理点数

問11で「引き上げるべきである」を選択した方が対象



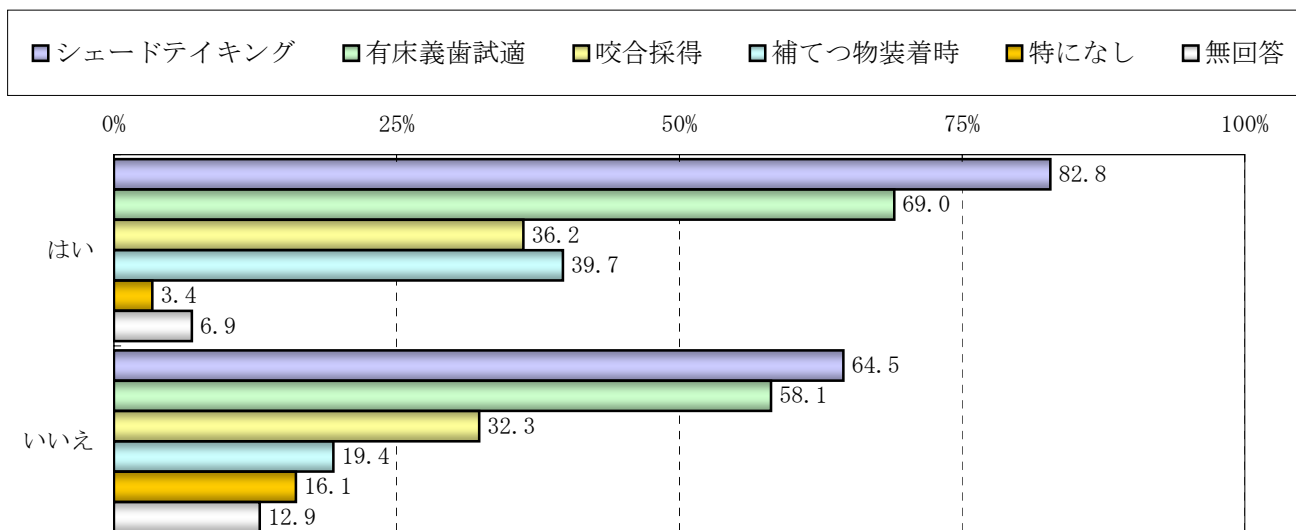
全体で見ると「500点以上」5件(7.9%)、「300点～500点未満」2件(3.2%)、「300点未満」1件(1.6%)の順となっており、平均〔448.8点〕となっている。

問 1 2. 医療保険制度上、歯科技工加算として算定した方が良い内容

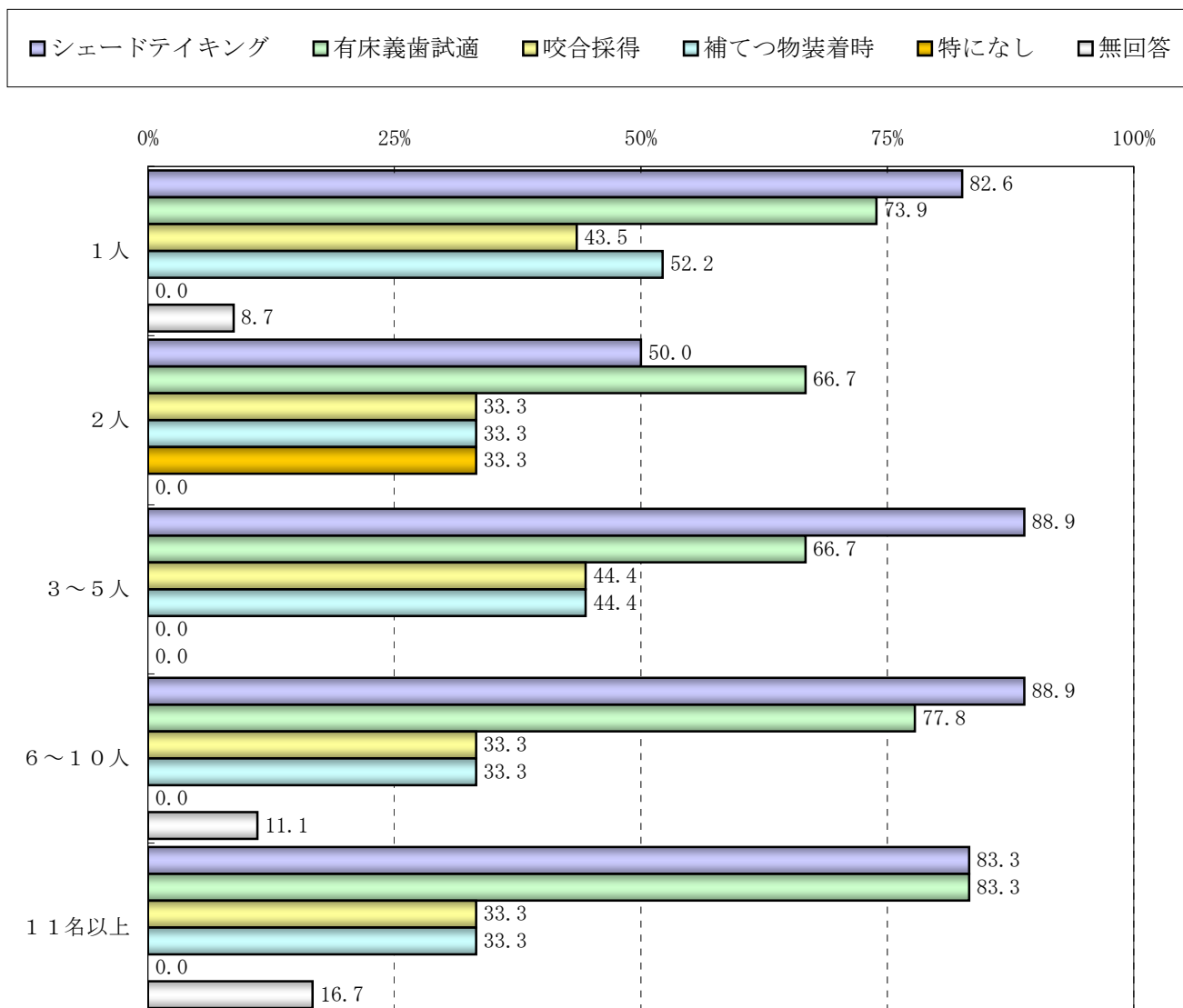


全体で見ると「シェードテイキング」68件(76.4%)、「有床義歯試適」58件(65.2%)、「咬合採得」31件(34.8%)の順となっている。

グラフ① [問 1. 歯科技工士の配置有無] × [問 1 2. 算定した方が良い内容]



グラフ② 〔問2. ①歯科技工士の人数／常勤〕 × 〔問12. 算定した方が良い内容〕



● 「その他」の記述内容

医療保険制度上、「歯科技工加算」として算定した方が良いと思われる内容については、間接法による リベースやシェードテイキング、セット時の調整後の研磨や訪問診療時に於ける義歯の調整等についてもその評価を求めるものがあった。

問4. 有床義歯（保険）の修理内容（複数可）と所要日数

<input type="checkbox"/> 人工歯の破折・脱離	<input type="checkbox"/> 当日（1日） <input type="checkbox"/> 翌日（2日） <input type="checkbox"/> 翌々日（3日） <input type="checkbox"/> 4日以上
<input type="checkbox"/> 義歯床の破折等	<input type="checkbox"/> 当日（1日） <input type="checkbox"/> 翌日（2日） <input type="checkbox"/> 翌々日（3日） <input type="checkbox"/> 4日以上
<input type="checkbox"/> 増歯のみ	<input type="checkbox"/> 当日（1日） <input type="checkbox"/> 翌日（2日） <input type="checkbox"/> 翌々日（3日） <input type="checkbox"/> 4日以上
<input type="checkbox"/> 増歯とリベースを同時に行うもの	<input type="checkbox"/> 当日（1日） <input type="checkbox"/> 翌日（2日） <input type="checkbox"/> 翌々日（3日） <input type="checkbox"/> 4日以上
<input type="checkbox"/> 鉤歯の修復によるもの	<input type="checkbox"/> 当日（1日） <input type="checkbox"/> 翌日（2日） <input type="checkbox"/> 翌々日（3日） <input type="checkbox"/> 4日以上
<input type="checkbox"/> クラस्पの破折等によるもの	<input type="checkbox"/> 当日（1日） <input type="checkbox"/> 翌日（2日） <input type="checkbox"/> 翌々日（3日） <input type="checkbox"/> 4日以上

問5. 有床義歯（保険）の修理における技工料について

修理の内容	単 位	技 術 料
<input type="checkbox"/> 人工歯の破折・脱離	1 歯あたり	円
<input type="checkbox"/> 義歯床の破折等	1 床あたり	円
<input type="checkbox"/> 維持装置（鑄造二腕鉤）の作成と義歯への埋入（1 本あたり）		円
<input type="checkbox"/> 増歯のみ	1 歯あたり	円
<input type="checkbox"/> リベース（換床法）	1 床あたり	円

問6. 歯科診療所等から有床義歯以外の修理を委託されることはありますか

【全ての方がご記入下さい】

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
-----------------------------	------------------------------

問7. 医療保険制度上、「歯科技工士加算」として算定した方が良いと思われる内容はどれですか

【全ての方がご記入下さい】

<input type="checkbox"/> シェードテイキング
<input type="checkbox"/> 有床義歯試適
<input type="checkbox"/> 咬合採得
<input type="checkbox"/> 補てつ物装着時
<input type="checkbox"/> その他（具体的にお書き下さい）
<input type="checkbox"/> 特になし

以上，ご協力有り難うございました

第4回（一社）日本歯科技工学会調査研究事業
**歯科診療所と歯科技工所の連携による歯科補てつ物等の
 品質及び患者の生活の質の向上に関する調査研究**
アンケート調査票（歯科診療所等）

1. プロフィール

①性別	<input type="checkbox"/> 男 ・ <input type="checkbox"/> 女
②年齢	() 歳
③施設の所在地	() 都道府県
④施設の形態	<input type="checkbox"/> 診療所 ・ <input type="checkbox"/> 病院
⑤開設時期	西暦 () 年頃
⑥従事者数	() 人
⑦歯科ユニット台数	() 台
⑧歯科技工室	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

問1. 貴施設内に歯科技工士を配置していますか

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
-----------------------------	------------------------------



【配置している場合】



【配置していない場合、問3へお進み下さい】



問2. 施設内に配置している歯科技工士の人数は

<input type="checkbox"/> 常勤 () 名	<input type="checkbox"/> 非常勤 () 名
--	---

問3. 有床義歯修理等に必要な機器を整備していますか

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
-----------------------------	------------------------------

問4. 施設内で有床義歯修理等を行っていますか

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
-----------------------------	------------------------------

問5. 施設内で行う有床義歯（保険）の修理内容（複数可）と所要日数

<input type="checkbox"/> 人工歯の破折・脱離	<input type="checkbox"/> 当日（1日） <input type="checkbox"/> 翌日（2日） <input type="checkbox"/> 翌々日（3日） <input type="checkbox"/> 4日以上
<input type="checkbox"/> 義歯床の破折等	<input type="checkbox"/> 当日（1日） <input type="checkbox"/> 翌日（2日） <input type="checkbox"/> 翌々日（3日） <input type="checkbox"/> 4日以上
<input type="checkbox"/> 増歯のみ	<input type="checkbox"/> 当日（1日） <input type="checkbox"/> 翌日（2日） <input type="checkbox"/> 翌々日（3日） <input type="checkbox"/> 4日以上
<input type="checkbox"/> 増歯とリベースを同時に行うもの	<input type="checkbox"/> 当日（1日） <input type="checkbox"/> 翌日（2日） <input type="checkbox"/> 翌々日（3日） <input type="checkbox"/> 4日以上
<input type="checkbox"/> 鉤歯の修復によるもの	<input type="checkbox"/> 当日（1日） <input type="checkbox"/> 翌日（2日） <input type="checkbox"/> 翌々日（3日） <input type="checkbox"/> 4日以上
<input type="checkbox"/> クラスプの破折等によるもの	<input type="checkbox"/> 当日（1日） <input type="checkbox"/> 翌日（2日） <input type="checkbox"/> 翌々日（3日） <input type="checkbox"/> 4日以上

問6. 歯科医師自らが義歯修理を行っていますか

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
-----------------------------	------------------------------

問7. 歯科医師自ら行う有床義歯（保険）の修理内容（複数可）

<input type="checkbox"/> 人工歯の破折・脱離	<input type="checkbox"/> 増歯のみ
<input type="checkbox"/> 義歯床の破折等	<input type="checkbox"/> 増歯とリベースを同時に行うもの
<input type="checkbox"/> 維持装置の修理	<input type="checkbox"/> 鉤歯の修復によるもの
	<input type="checkbox"/> クラスプの破折等によるもの

問8. 施設外の歯科技工所へ義歯修理を委託することはありますか

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
-----------------------------	------------------------------



【委託している場合】



【問11へお進み下さい】

問9. 委託する場合の有床義歯（保険）の修理内容（複数可）と所要日数

<input type="checkbox"/> 人工歯の破折・脱離	<input type="checkbox"/> 当日（1日）	<input type="checkbox"/> 翌日（2日）	<input type="checkbox"/> 翌々日（3日）	<input type="checkbox"/> 4日以上
<input type="checkbox"/> 義歯床の破折等	<input type="checkbox"/> 当日（1日）	<input type="checkbox"/> 翌日（2日）	<input type="checkbox"/> 翌々日（3日）	<input type="checkbox"/> 4日以上
<input type="checkbox"/> 増歯のみ	<input type="checkbox"/> 当日（1日）	<input type="checkbox"/> 翌日（2日）	<input type="checkbox"/> 翌々日（3日）	<input type="checkbox"/> 4日以上
<input type="checkbox"/> 増歯とリベースを同時に行うもの	<input type="checkbox"/> 当日（1日）	<input type="checkbox"/> 翌日（2日）	<input type="checkbox"/> 翌々日（3日）	<input type="checkbox"/> 4日以上
<input type="checkbox"/> 鉤歯の修復によるもの	<input type="checkbox"/> 当日（1日）	<input type="checkbox"/> 翌日（2日）	<input type="checkbox"/> 翌々日（3日）	<input type="checkbox"/> 4日以上
<input type="checkbox"/> クラスプの破折等によるもの	<input type="checkbox"/> 当日（1日）	<input type="checkbox"/> 翌日（2日）	<input type="checkbox"/> 翌々日（3日）	<input type="checkbox"/> 4日以上

問10. 有床義歯（保険）の修理等の技工料について

修理等の内容	単 位	技 工 料
<input type="checkbox"/> 人工歯の破折・脱離	1 歯あたり	円
<input type="checkbox"/> 義歯床の破折等	1 床あたり	円
<input type="checkbox"/> 維持装置（铸造二腕鉤）の作成と義歯への埋入（1本あたり）		円
<input type="checkbox"/> 増歯のみ	1 歯あたり	円
<input type="checkbox"/> リベース（換床法）	1 床あたり	円

歯科診療所と歯科技工所の連携による歯科補てつ物等の
品質及び患者の生活の質の向上に関する調査研究

平成25年9月発行

編集発行 一般社団法人 日本歯科技工学会
〒170-0003
東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル
電話 03-3947-8891

印刷 株式会社アクロス
〒103-0004
東京都中央区東日本橋2-8-4 東日本橋1stビル
電話 03-5823-4301

無断転載を禁ず

※本調査に関する詳細なデータは、下記の学会ホームページよりダウンロードできます
<http://www.nadt.jp>